Panasonic®

取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 CF-T5 シリーズ

紙で見る

はじめに読む

『準備と設定ガイド』

最初に「付属品の確認」で
付属品を確認してください。

次に読む

『取扱説明書』（本書）

必要なときに読む

『取扱説明書』（本書）の「困ったとき」

『無線LAN接続ガイド』

（機種によっては、『無線LAN接続ガイド』が付属していない場合があります）

画面で見る

『操作マニュアル』

インターネットやセキュリティ、バッテリーなど、本機をより活用するための機能を説明しています。

[スタート]-[操作マニュアル] をクリックして表示できます

『困ったときのQ&A』

使用上のトラブルなどについて、原因や解決方法について説明しています。

[スタート]-[操作マニュアル] をクリックして表示できます

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。
（➜ 23ページ）

『内蔵モデムコマンド一覧』

モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。
（➜ 23ページ）

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（12〜16ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意
はじめに
使ってみる
困ったとき
仕様一覧
お問い合わせの前に
さくいん

レッツノートでできること

バッテリーの長寿命/長時間駆動！

	エコノミーモード(ECO)	
	無効	有効
おすすめの使いかた	モバイル派 持ち歩いて使う	デスク派 ほとんどの時間ACアダプターに接続して使う
駆動時間	長い	短い
耐久年数	短い	長い

バッテリーの長寿命/長時間駆動を切り替える

➜ 『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「バッテリーパックの劣化を抑える」

画面上の文字やアイコンなどを拡大表示！

●フォントサイズ拡大機能[*1]/ズームビューアー搭載

➜ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の表示を拡大する」

*1 アプリケーションソフトやインターネット上の表示、HTML、メールによっては拡大表示されない場合があります。

無断使用防止にパスワードが設定できる！

●各種パスワード設定/SDメモリーカードの利用

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

映像・音楽・データ交換などが手軽に楽しめる！

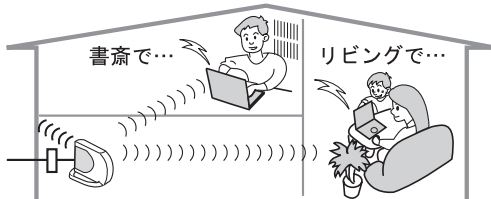
●SDメモリーカードスロット搭載

➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SDメモリーカードを使う」

ワイヤレスでブロードバンドが楽しめる！

●無線LAN機能搭載（IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g準拠）

無線LANをお使いになる前に、無線LAN切り替えスイッチを確認してください。（➜ 24ページ）

➜ 『操作マニュアル』「（無線LAN）」

インターネットへの接続方法もいろいろ！

●電話回線、LAN、無線LANの利用 ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット）」

ウイルスから守る！

●「セキュリティセンター」機能の利用 ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「セキュリティセンター」

●セキュリティ設定ユーティリティ ➜ 36ページ

●ウイルス対策ソフト ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「ウイルス対策ソフトを使う」

●Windows Update ／パナソニック PCのホームページ などの利用

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windowsを最新の状態にする」

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	•初めてお使いになるとき(ご使用前の準備・設定や付属品の確認) •消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書』(本書)	•基本操作や仕様などの情報を知りたいとき •困ったとき(画面で見るマニュアルが見られない場合)
画面で見る『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	•本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき •セキュリティ機能について知りたいとき　•困ったとき

もくじ

● 困ったとき

8 ページをご覧ください。

● 仕様一覧

● お問い合わせの前に

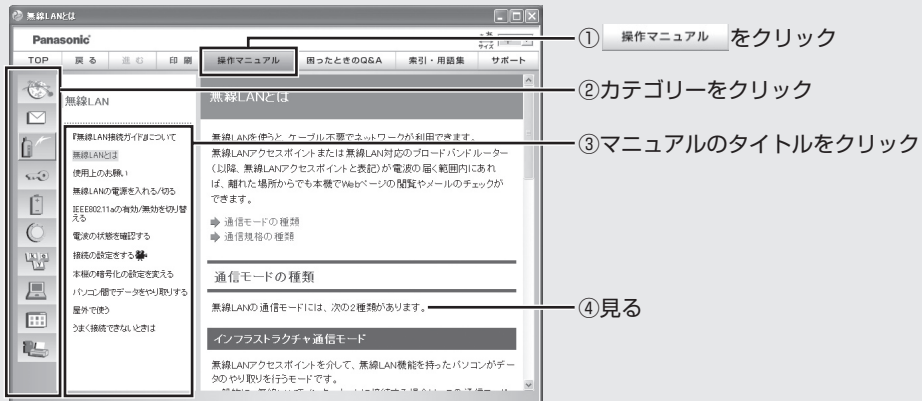
● さくいん

さらに詳しい情報は
画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。➜ 次のページ

もくじ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。

スタート - 操作マニュアル をクリックしてください。

画面で見る『操作マニュアル』

セキュリティ

セキュリティについて
セキュリティセンター
Windows を最新の状態にする
ウイルス対策ソフトを使う
Windows ファイアウォールを使う
Windows のパスワードを設定する
パソコン起動時のパスワードを設定する
ログオン方法を変更する / 電源を切る
データを暗号化する
SD メモリーカードで認証する
起動できるデバイスを制限する
データ実行防止機能（DEP 機能）を使う

バッテリー

上手な使い方
駆動時間について
バッテリーの状態を確認する
バッテリーの残量を確認する
バッテリー残量を正確に表示させる
バッテリーパックの劣化を抑える
バッテリーパックを交換する
バッテリー残量が少なくなってからあわてないために

ホイールパッド

ホイールパッドについて
スクロールする
タップ機能を無効にする
ホイールパッドの感度を調節する
ホイールパッドユーティリティの設定を変更する

キーボード

Fn キーを使う
Hotkey 設定
テンキーモードで使う

レッツノート活用

状態表示ランプで状態を確認する
消費電力を節約する
次回すぐに操作を始めるには
画面の表示を拡大する
セットアップユーティリティ
拡張デスクトップモードを使う
ドライバーや BIOS などを更新する
パーティション（領域）を変更する
システムの構成を見る
内蔵モデムコマンド一覧
Windows 関連ファイルについて

アプリケーションソフト

goo スティック
NumLock お知らせ
Wireless Manager mobile edition 3.0
ズームビューアー
マカフィー®・ウイルススキャン

周辺機器

USB 機器を接続する
PC カードを使う
SD メモリーカードを使う
メモリー容量を増やす
外部マウスを使う
外付けフロッピーディスクドライブを使う
プリンターを使う
プロジェクターを使う
外部ディスプレイを使う

もくじ

● 困ったとき

起動／終了／スタンバイ・休止状態の Q&A

パスワード／メッセージの Q&A

バッテリーの Q&A

カーソルの Q&A

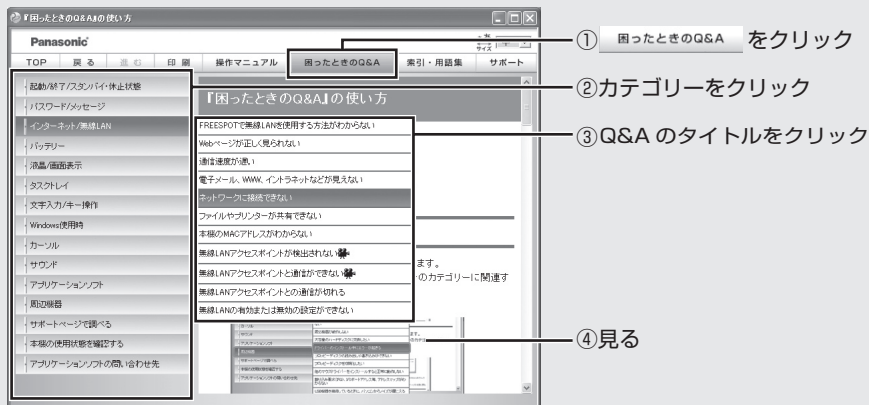
画面表示の Q&A

ハードウェアを診断する

エラーコードが表示されたら

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。

スタート - 操作マニュアル をクリックしてください。

起動／終了／スタンバイ・休止状態

Administrator のユーザーアカウントでログオンしたい
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された
SD メモリーカードで Windows にログオンできない
Windows の起動が遅い
Windows を起動すると、チェックディスク（CHKDSK）が始まる
スタンバイ･休止状態からリジューム（復帰）しない
スタンバイ・休止状態にならない
スタンバイ・休止状態を無効にしたい
電源が切れない（Windows が終了しない）
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された
フロッピーディスクから起動できない

パスワード／メッセージ

「NumLock がオンになっています」が表示された
Windows が起動せず、数字またはメッセージが表示された
コンピューターの管理者のパスワードを忘れた
パスワードの入力画面が表示されない
パスワードを入力しても再度入力を求められる
「ファイルが必要」画面が表示された

インターネット / 無線 LAN

FREESPOT で無線 LAN を使用する方法がわからない
Web ページが正しく見られない
通信速度が遅い
電子メール、WWW、イントラネットなどが見えない
ネットワークに接続できない
ファイルやプリンターが共有できない
本機の MAC アドレスがわからない
無線 LAN アクセスポイントが検出されない
無線 LAN アクセスポイントと通信ができない
無線 LAN アクセスポイントとの通信が切れる
無線 LAN の有効または無効の設定ができない

バッテリー

カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い
バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している

もくじ

画面で見る『困ったときのQ&A』

画面で見る『困ったときのQ&A』

周辺機器

PC カードに接続した機器が正常に動作しない
PC カードやマルチメディアカード、SDHC メモリーカードが使えない
SD メモリーカードのセキュリティ機能が使えない
SD メモリーカードを挿し込んでも、動作を選ぶ画面が表示されない
周辺機器が動作しない
大容量のハードディスクに交換したい
ドライバーのインストール中にエラーが起きる
フロッピーディスクの読み出しや書き込みができない
フロッピーディスクを初期化したい
他のマウスドライバーをインストールすると正常に動作しない
割り込み要求（IRQ)、I/O ポートアドレスなど、アドレスマップがわからない
USB 機器を接続しているときに、パソコンからノイズが聞こえる

サポートページで調べる

ドライバーのアップデートや新着のサポート情報を知りたい
無線 LAN のサポート情報を知りたい

本機の使用状態を確認する

本機の使用状態を確認したい

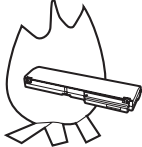
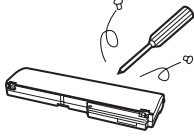
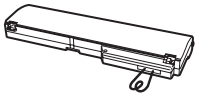
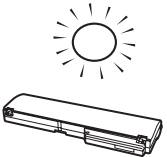
アプリケーションソフトの問い合わせ先

アプリケーションソフトの操作方法、トラブルについて質問したい

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意

危険

火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

禁止

- 発熱・発火・破裂の原因になります。
- ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

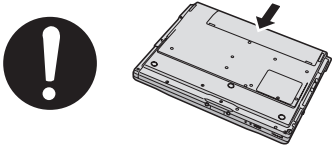
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

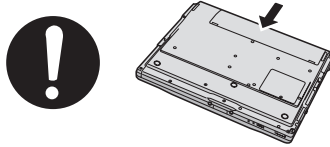
指定の方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックに関する注意

⚠ 危険

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-T5シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-T5シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

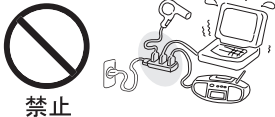
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

改造しない また、分解しない

分解禁止

⚠ 警 告
高電圧に注意
本機を分解・改造しない

［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。内部の端子や基板に触れたり、異物を入れたりしないでください。
また、改造や分解は火災の原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

禁止

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

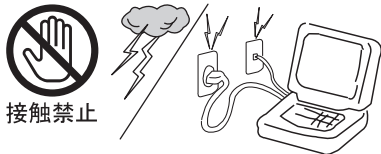
- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

SDメモリーカード（別売り）は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本体やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*1の原因になります。

*1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る*2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る*2（手術室、集中治療室、CCU*3などには持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る*2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用するときは、無線LAN切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドさせ、無線LANの電源を切ってください。ただし、航空機の離着陸時など、無線LANの電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

*3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

炎天下の車中などに長時間放置しない

炎天下の車中や直射日光の当たる場所など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話 など）

モデムは一般電話回線で使用する

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域*4で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

*4 本機のモデムが対応している国や地域については81ページをご覧ください。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

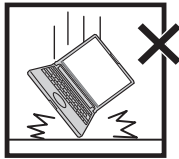
必ず指定のACアダプターを使用する

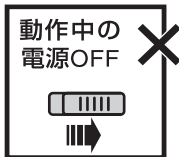
指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

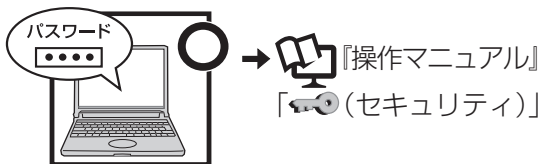
●パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

●Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプ▤の点灯中は、電源を切らない。

ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから電源を切ってください。

●磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

●データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。

➜『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

重要

操作やデバイスへのアクセスがなく、ハードディスク状態表示ランプ▤が消えてしばらく（10秒以内）したときや、スタンバイ・休止状態に入るとき、Windows終了時に、カッコンという音がする場合があります。これは消費電力を抑えたり、衝撃からハードディスクを保護するためにヘッドが退避するときの音で、故障ではありません。

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。
次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。

● [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション] をクリックし、[電源設定] を [バッテリの最大利用] に設定する。

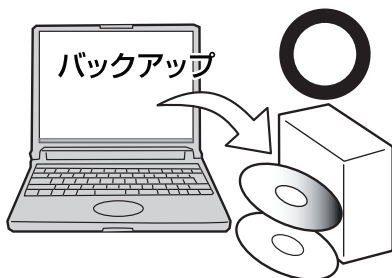
●3Dグラフィックスを利用したスクリーンセーバーを使っている場合は、他のスクリーンセーバー（例：[Windows XP]、[ブランク]）に変更する。
スクリーンセーバーを変更するには、デスクトップを右クリックし、[プロパティ]-[スクリーンセーバー]をクリックし、スクリーンセーバー名をクリックしてください。

気温が高い場所でお使いになる場合

気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

ハードディスクのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

詳しくは『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

故障や不本意なデータ更新/消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なハードディスクのバックアップが有効です。

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

●仕様に適合した周辺機器を使用する。

●コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。

●接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。

●固定用のネジがある場合は、ネジを締める。

●ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➜『操作マニュアル』「（無線LAN）」、お使いの無線LANアクセスポイントの説明書

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
- IDやパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メール内容

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- ●アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ●出会い系サイト
- ●暴力残虐画像を集めたサイト
- ●他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- ●犯罪を助長するようなサイト
- ●毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、前述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関しては、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html
（2006年9月1日現在）

使用・保管・お手入れについて

使用／保管に適した環境

●平らで落下のおそれがない場所

パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

●使用時の温度：5℃～35℃
　　　湿度：30 %RH～80 %RH
　　　　　　　（結露なきこと）
保管時の温度：－20℃～60℃
　　　湿度：30 %RH～90 %RH
　　　　　　　（結露なきこと）

上記温度、湿度の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。

●ビニールシートなどを敷いた上でパソコンを使用すると、本体に熱がこもり故障の原因になります。

●昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

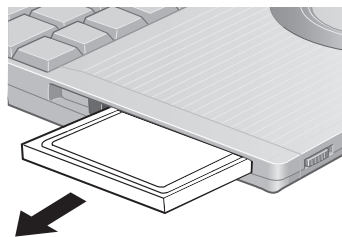
●磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所

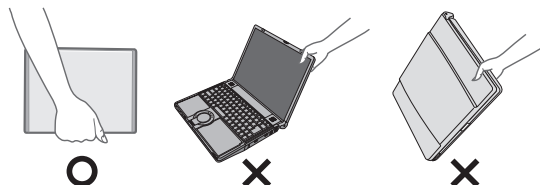
- 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
- 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

持ち運ぶとき

お守りください

●電源を切る。

●外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード、SDメモリーカードをすべて取り外す。

●ディスプレイを閉じ、ディスプレイラッチ部分（➜ 26ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。

●ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

●落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

●航空機利用時は次のことを守る。

- パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
- 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

●液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているとき、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

おすすめします

●ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。

●予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

●SDメモリーカードなどにデータのバックアップを取る。

お手入れ

●ディスプレイ／ホイールパッドのお手入れ：ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

●ディスプレイ以外の部分／ホイールパッドに汚れが付着した場合：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

重 要

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

表記につい て

Enter	**キーボードのEnterキーを押すこと。**
Fn ＋ F5	**キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押すこと。** **Fn と Ctrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➜52ページ）は、Fn と Ctrl を置き換えてご覧ください。**
[スタート] -[検索]	**画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックすること。**
➜	**参照先**
	画面で見るマニュアルのこと。

●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。
制限付きアカウントのユーザーやGuestアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

●本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」または「Windows XP Service Pack2」と表記します

●別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

●再インストールについて

再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

<u>お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。</u>再インストールの方法や確認事項については「再インストールする（パーティションを変更する）」（➜59ページ）をご覧ください。

はじめに

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されていて、Windowsのセットアップ（➜『準備と設定ガイド』の6 ～ 8ページ）が終わった後起動して、見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

●デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー)」が表示されます。

●デスクトップの（セキュリティについて）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（セキュリティ)」が表示されます。
機種によってはデスクトップに（セキュリティについて）がない場合があります。

『内蔵セキュリティチップ(TPM)ご利用の手引き』を見る(PDF形式)

1 [スタート]-[操作マニュアル]をクリックする。

2 [（セキュリティ）]をクリックし、[データを暗号化する]をクリックする。

3 説明をよく読み、[内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き]をクリックする。

『内蔵モデムコマンド一覧』を見る(PDF形式)

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。

Windowsのヘルプを見る

1 コンピューターの管理者の権限でログオンし、[スタート]-[ヘルプとサポート]をクリックする。

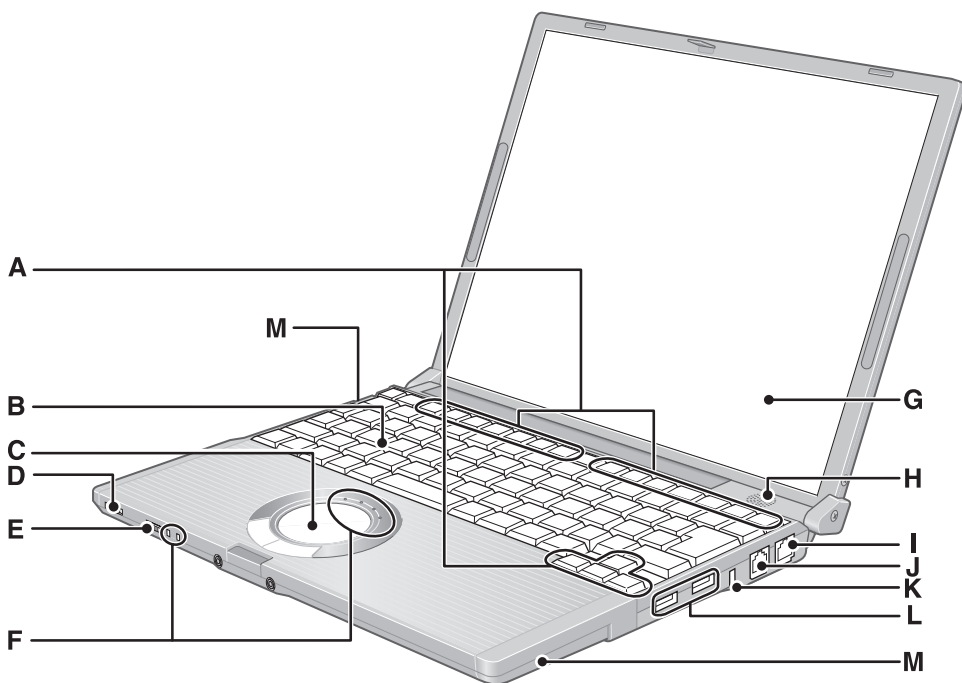
制限ユーザーでログオンすると、一部参照できないページがあります。

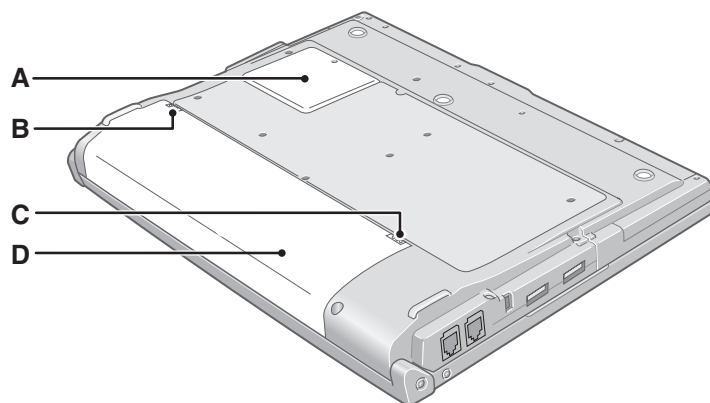
メモ

PDF形式のマニュアルを印刷するときに「Before you can perform print-related tasks such as page setup or printing a document, you need to install a printer.」が表示された場合、次の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。

①[OK]をクリックし、画面を閉じる。
②[スタート]-[プリンタとFAX]をクリックする。
③[プリンタのインストール]をクリックする。

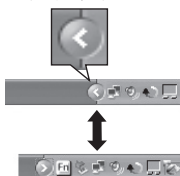
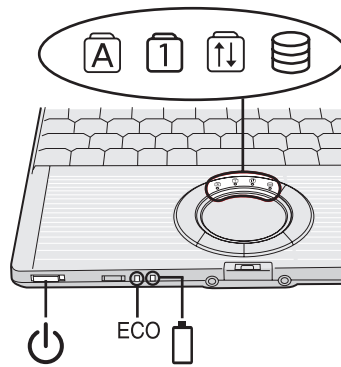
以降、画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	ファンクションキー	Fn と組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡ 34 ページ
B	キーボード	―
C	ホイールパッド	➡『準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡ 32 ページ
D	電源スイッチ／ 電源状態表示ランプ ⏻	約 1 秒間スライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源状態表示ランプ ➡ 27 ページ／電源スイッチ ➡ 30 ページ）
E	無線 LAN 切り替えスイッチ WIRELESS LAN	無線 LAN の電源を入れる（右側）／切る（左側）を切り替えます。 ➡ 『操作マニュアル』「（無線 LAN）」
F	状態表示ランプ ECO	➡ 27 ページ
G	ディスプレイ （内部 LCD）	明るさ調整：Fn ＋ F1 （下げる）／ Fn ＋ F2 （上げる） ➡ 29 ページ
H	スピーカー	● 音量調整　：Fn ＋ F5 （下げる）／ Fn ＋ F6 （上げる） ● スピーカーのオン／オフ：Fn ＋ F4
I	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「有線LANで接続する」

名　称		働き／参照先
J	モデムコネクター	モジュラーケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「（インターネット）」の「電話回線で接続する」
K	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
L	USBポート	USBケーブルを接続します。 ➡『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「USB機器を接続する」
M	無線LAN 用アンテナ（内蔵）	無線LAN 通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡『操作マニュアル』「（無線LAN）」

A	拡張メモリースロット	別売りのRAMモジュールを増設します。 ➡ 46 ページ
B	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。
C	ラッチ	バッテリーパックの取り付け／取り外し時に、手動でロックを解除します。 ➡『準備と設定ガイド』3 ページ
D	バッテリーパック	➡『準備と設定ガイド』3 ページ、『操作マニュアル』「（バッテリー）」

はじめに

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。 ➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部ディスプレイを使う」
C	PCカードスロット	➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「PCカードを使う」
D	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカード専用です。マルチメディアカードおよびSDHCメモリーカード（4GB以上のSDメモリーカード）には対応していません。 ➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SDメモリーカードを使う」
E	SDメモリーカード状態表示ランプ SD	SD メモリーカードへのアクセス時に点灯します。
F	ディスプレイラッチ	ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、スタンバイや休止状態に入ります。操作を再開するときはディスプレイを開けてください。 ➜ 42 ページ
G	マイク入力端子	コンデンサー型マイクロホンを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 ● ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合: 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、[オプション]-[プロパティ]-[録音]-[OK]-[オプション]-[トーン調整]-[トーン]を順にクリックして[モノマイク]のチェックマークを外した後、[閉じる]をクリックしてください。 ● 2極プラグタイプのモノラルマイクをお使いになる場合: 上記設定を行うと、左側の音声のみの録音になります。 ヘッドホンでマイク音をモニターした場合、上記設定にかかわらず、左側からしか音が出ません。これは、本機の仕様で故障ではありません。
H	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

名　称	状態／参照先
電源状態表示 ランプ	● 消灯：電源オフまたは休止状態 ● 点灯：電源オン ● 点滅：スタンバイ状態 内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。 スタンバイまたは休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
エコノミーモード （ECO）ランプ　ECO	バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効／無効を表します。 ● 消灯：無効 ● 点灯：有効 ● 点滅：有効（残量80%まで放電中）
バッテリー状態 表示ランプ	● 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 ● オレンジ色点灯/明滅：充電中 ● 緑色点灯：充電完了 ● 赤色点灯：残量約9%以下 ● 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーのQ&A」の「バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは？」（→ 72ページ）をご覧ください。
Caps Lockランプ （キャップスロック）	Shift を押しながら Caps Lock を押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。 ● 点灯：大文字 ● 消灯：小文字
NumLockランプ （ナムロック／ テンキーモード）	NumLk を押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度 NumLk を押します（ランプ消灯）。 テンキーモード Enter の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLkランプ （スクロールロック）	Fn を押しながら NumLk （ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
ハードディスク状態 表示ランプ	ハードディスクへのアクセス時に点灯します。

画面の表示について

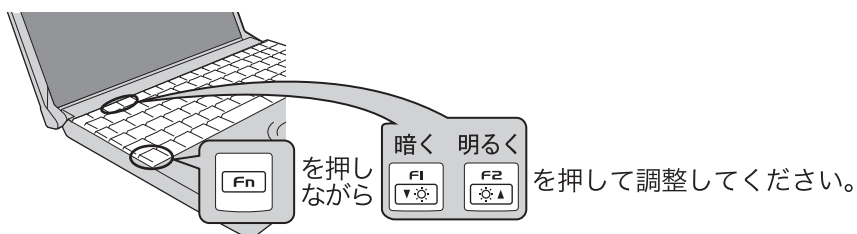
電源を入れ、Windowsにログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

表示例	名　称	働き
など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
スタート	[スタート]ボタン（画面左下）	クリックすると、メニューが表示されます。使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。
クリック	タスクトレイ（画面右下）	並んでいるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、をクリックして表示させてください。（本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

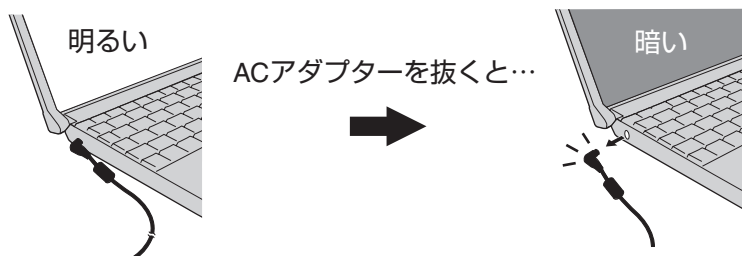
タスクトレイのアイコン

アイコン	名称と役割
	Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for mobile（画面設定に使用）
	ネットセレクター（LAN や無線 LAN などの接続設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「接続の設定を簡単に切り替える」
または	無線LAN（無線LANの確認やIEEE802.11aの有効／無効の切り替えに使用） ➜ 『操作マニュアル』「（無線LAN）」
	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ(ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用) ➜ 『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」
または	音量（音量の設定） ➜ Windowsのヘルプ
または	ワイヤレスネットワーク接続（無線LANの接続設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（無線LAN）」
または	ローカルエリア接続（有線 LAN の接続設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「有線LANで接続する」
ECO または	エコノミーモード（ECO）（現在のエコノミーモード（ECO）の確認やモードの切り替えに使用） ➜ 41ページ
	バッテリーメーター（AC アダプターを抜くと表示。「バッテリメーター」画面の表示や電源プロパティの調整に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「駆動時間について」

アイコン	名称と役割
または	Windowsセキュリティ（セキュリティに関する設定状態の確認や設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「セキュリティセンター」
Fn または Fn	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Hotkey設定」
AB	ズームビューアー（ズームビューアーを起動している場合のみ表示。拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の表示を拡大する」

画面の明るさを調整する

押すごとに明るさが変わります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、パソコンが別々に覚えているため、ACアダプターを接続していない状態で Fn + F2 を押して明るくすると、その明るさが保持され、次にACアダプターを抜いたときも調整した明るさになります。（明るくしていると、バッテリーでの駆動時間が短くなります。）

電源を入れる／切る

電源を入れる

初めて電源を入れるときの操作は『準備と設定ガイド』をご覧ください。

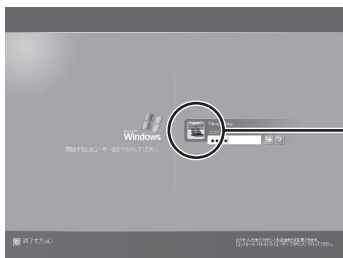
1 電源スイッチ⏻を約1秒間スライドする。

●電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離します。
●電源スイッチを4秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

●起動中（ポインターが砂時計⌛から通常のもの に戻り、ハードディスク状態表示ランプ が消えるまで）は、次のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

2 Windowsにログオンする。

複数のユーザーアカウントを作成している場合は、ハードディスク状態表示ランプ が消えてから、ユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

●パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

●文字入力の設定がキャップスロックやナムロック（➜ 27ページ）になっていないことを確認してください。

メモ

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、省電力機能が働き画面の表示が消えます。

- ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
  動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
  また、本機を操作しないと、スタンバイ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。
  ➜ 42ページ

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力しEnterを押してください。正しく入力すると起動します。

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

電源を切る

ホイールパッドを使って電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 [スタート]-[終了オプション]をクリックする。

3 [電源を切る]をクリックする。

電源が切れます。

起動し直したい場合（再起動）は [再起動] をクリックします。

キーボードを使って電源を切る

1 ⊞、Ⓤの順に押し、←→↓↑で[電源を切る] を選ぶ。

2 Enterを押す。

重 要

●電源が切れるまでは、次のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

●電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

メ モ

●パソコン本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5Wの電力が消費されます。

●電源が切れている状態でも電力を消費します。満充電にしていても約3か月[*1]でバッテリー残量がなくなります。

*1 軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合は約2か月。

席を外すなど、操作を中断する

「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

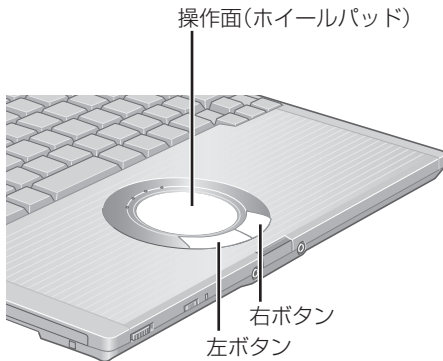
●Fn+F7 を押すと、スタンバイ状態になります。

●Fn+F10 を押すと、休止状態になります。

●電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

→ 42ページ

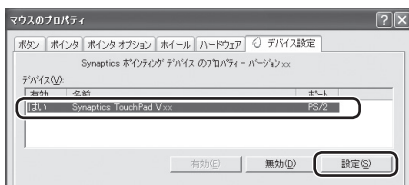
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、付属の『準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」（➜ 5 ページ）をご覧ください。

ホイールパッドの感度を調節する

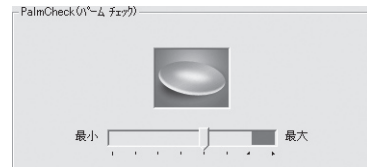
「PalmCheck™（パームチェック）」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。

4 [感度]をダブルクリックして、[PalmCheck（パームチェック）]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck（パームチェック）

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてカーソルが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにカーソルが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、カーソルが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでカーソルが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもカーソルがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとカーソルが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでカーソルが動くようになります。

5 調節した後、[OK] をクリックする。

6 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効/無効を切り替える

USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効/無効を切り替えることができます。
この機能を使うには、セットアップが必要です。

1 **[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

2 **半角英字で次のように入力し、[OK]をクリックする。**
c:¥util¥umouhelp¥setup.exe

3 **セットアップの画面で[はい]をクリックする。**
「USBマウスヘルパーをご使用になる前に」が表示されますので、内容をよく読んで、☒ をクリックしてください。

4 **[次へ]をクリックする。**

5 **[はい、今すぐコンピュータを再起動します]をクリックし、[完了]をクリックする。**
パソコンが再起動します。

詳しくは、『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「外部マウスを使う」もご覧ください。

ホイールパッドの取り扱い

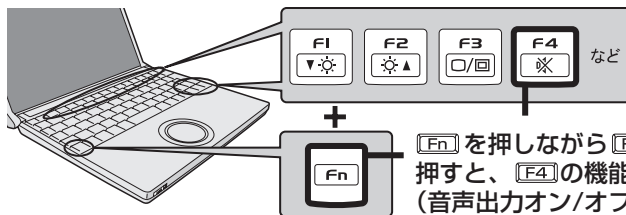
ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- ●操作面に物を置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- ●油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- ●ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ●ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

メモ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

Fnキーを使う

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

●各機能の詳細：
➜『操作マニュアル』「(キーボード)」の「Fnキーを使う」

●FnとCtrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➜ 52 ページ）：
Fnの代わりにCtrl（左側）を押してください。

キー	機能	画面表示
Fn+F1 Fn+F2	内部 LCDの明るさを調整します。 Fn+F1（下げる）／Fn+F2（上げる）	
Fn+F3	外部ディスプレイ接続時、表示先を内部LCD/同時表示/外部ディスプレイに切り替えます。画面表示が完全に切り替わるまで、他のキーは押さないでください。	–
Fn+F4	内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン／オフを切り替えます。 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn+F5 Fn+F6	内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn+F5（下げる）／Fn+F6（上げる）	
Fn+F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスタンバイ状態に入ります。	–
Fn+F9	バッテリーの残量を表示します。	100 % バッテリーパック装着時（%表示は一例） -- % バッテリーパック未装着時 ECO エコノミーモード（ECO）が有効の場合は、「ECO」と表示
Fn+F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn+F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	–
Fn+F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn+Alt+F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	–
Fn+NumLk Fn+Ins Fn+Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn+NumLk：ScrLk　Fn+Ins：Pause Fn+Del：Break	–
Fn+←	最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動（Home）	–
Fn+→	最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動（End）	–
Fn+↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn+↓	次のページに移動（PgDn）	–

セキュリティについて

本機には、コンピューターウイルスや不正アクセスなどの被害にあわないためのさまざまなセキュリティ機能が用意されています。

●日常の脅威に備える

ネットワークを介した不正なアクセスやコンピューターウイルスによって大切なデータを破壊されたり、パソコン本体の盗難や無断使用により重要な機密情報が外部に漏えいしたりするケースが増えています。

いつ、どんなときにトラブルに見舞われるかは予測がつきません。万一に備え、セキュリティ対策を忘れずに行ってください。

●適切なセキュリティ機能を使う

セキュリティ機能を設定していても、情報漏えいやウイルス感染などが完全に防げるわけではありません。また、高度なセキュリティ機能を使うと、何回もパスワードを入力しなくてはならなかったり、1つでもパスワードを忘れるとデータを読み出せなくなったりするなど、使い勝手が悪くなることがあります。お客さまの使い方にあった適切なセキュリティ機能を使ってください。

●セキュリティ機能を使うときのお願い

- お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- 「パソコンが起動しない」や「インターネットにアクセスしたら、ウイルスに感染してしまった」など、思わぬトラブルや故障に備えて、大切なデータはバックアップをとり、安全な場所に保管しておくことをおすすめします。
- 情報漏えいやウイルス感染などによる損害について、弊社では一切責任を負いかねます。

ステップ別セキュリティ対策

ここでは、ご利用の環境や用途に合わせて、お客さまに行っていただきたいセキュリティ対策を「基本編」「応用編」「強化編」のステップに分けて紹介します。ステップが進むほど安全性は高くなります。

メモ

●「基本編」「応用編」「強化編」それぞれのセキュリティ対策から、必要なものを組み合わせて設定してください。
「強化編」にあるデータの暗号化だけでは、安全性は高くなりません。必ず「基本編」「応用編」のセキュリティ機能と組み合わせて使ってください。

●会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。
本書に記載している内容がすべての環境に適しているわけではありません。

セキュリティ対策(基本編)

パソコンを使う方全員に行っていただきたい対策です。

詳細:『操作マニュアル』「(セキュリティ)」の「セキュリティについて」

項目	効果
Windowsファイアウォール	不正アクセスの防止
自動更新(Windowsを最新の状態にする)	ウイルス感染や不正アクセスの防止
ウイルス対策ソフト	ウイルス感染の防止
制限ユーザーで使う	第三者による不正な設定変更の防止
Windowsパスワード	Windowsの無断使用の防止
データ実行防止機能(DEP機能)	コンピューターウイルスの実行防止

セキュリティについて

セキュリティ対策（応用編）

これらは主に、第三者による不正使用や情報漏えいを防ぐための対策です。1台のパソコンを複数の人でお使いの場合や、本機を仕事でお使いの場合におすすめです。

項目	効果
ログオン方法（「ようこそ」画面を使わない）	不正使用や情報漏えいの防止
起動時のパスワード（➜ 55ページ）	
ハードディスク保護（➜ 56ページ）	
離席時の動作(スクリーンセーバーのパスワード設定)	
離席時の動作(スタンバイ・休止状態を使わずに電源を切る)	
起動デバイスの制限	

セキュリティ対策（強化編）

「応用編」にあるハードディスク保護機能を使うことで、第三者がハードディスク内の情報を読み出せない状態にすることができます。しかし、ハードディスクを分解し、内部の情報を直接読み出すことは技術的に可能です。

ここでは、このような場合のために、ハードディスクの情報をファイルまたはフォルダー単位であらかじめ暗号化して保存する方法を説明します。

項目	効果
暗号化ファイルシステム	情報漏えいの防止
内蔵セキュリティチップ（TPM）	

セキュリティ設定ユーティリティ

本機には、各種セキュリティ機能の一元管理や設定が簡単に行えるセキュリティ設定ユーティリティが用意されています。

起動時のパスワードやハードディスク保護の解除など、セキュリティ上重要な項目はセキュリティ設定ユーティリティからは行えません。それらを解除する場合は、セットアップユーティリティで行ってください。（➜49ページ）

一部の設定項目については、プロファイルに保存またはプロファイルから読み込むことができます。これにより、パソコンの使用状況に応じてセキュリティの設定を一括して切り替えたり、元の設定に戻すことができます。別のパソコンのセキュリティ設定ユーティリティで保存したプロファイルを本機に読み込み、パソコンのセキュリティ設定の内容を合わせることもできます。

使用方法

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[セキュリティ]-[セキュリティ設定ユーティリティ]をクリックする。

Windowsの動作上重要な項目を設定/変更する場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンする必要があります。

コンピューターの管理者の権限以外でログオンしたり、必要な設定がされていなかった場合、設定できない項目はグレー表示になります。セキュリティ設定ユーティリティでこれらの項目を設定/変更することはできません。

メモ

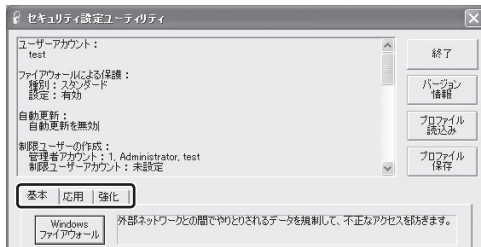
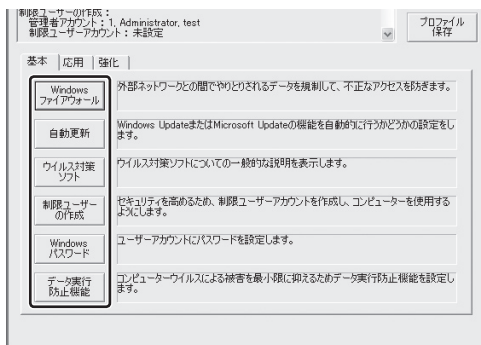
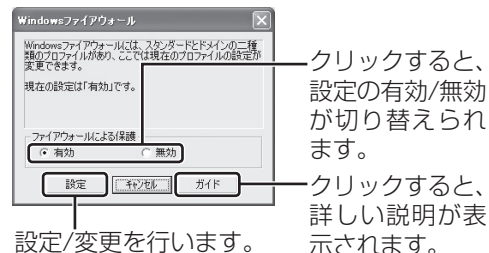
セキュリティ設定ユーティリティが表示されない場合は、次の手順でインストールしてください。

①コンピューターの管理者の権限でログオンする。
②[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
③半角英字で次のように入力し、[OK]をクリックする。
c:¥util¥secutil¥setup.exe

以降は画面の指示に従ってください。

2 「ご利用確認」画面の内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする。

[いいえ]をクリックした場合、セキュリティ設定ユーティリティはお使いいただけません。

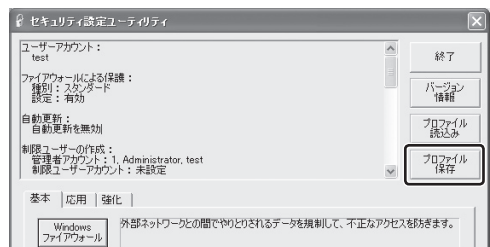
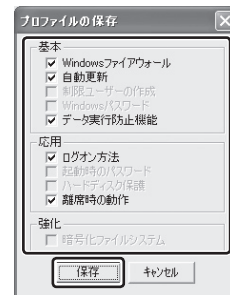
3 設定するセキュリティを[基本]、[応用]、[強化]から選択する。

4 設定する項目をクリックする。

[Windows ファイアウォール]をクリックした場合は､次の画面が表示されます。

5 設定が終わったら、[終了]をクリックする。

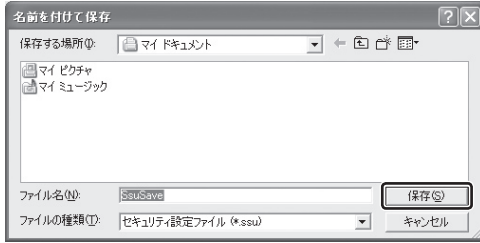
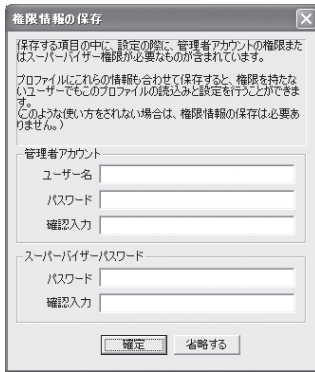
設定の保存/読み込み

「セキュリティ設定ユーティリティ」画面で、[プロファイル保存]または[プロファイル読込み]をクリックしてください。

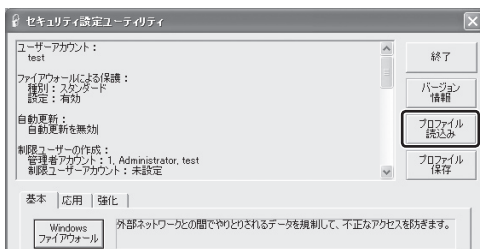
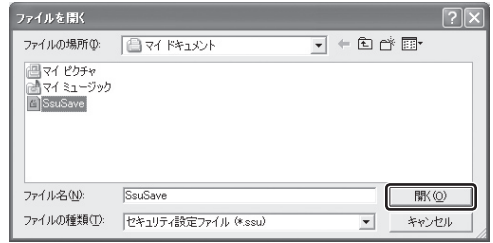
●保存

現在設定されている内容をプロファイルに保存します。

1 [プロファイル保存]をクリックする。

2 保存する項目をクリックしてチェックマークを付け、[保存]をクリックする。

- 保存できない項目はグレーで表示されます。
- データ実行防止機能およびハードディスク保護は、有効に設定されている場合のみ選択できます。
- 制限ユーザーの作成、Windowsパスワード、起動時のパスワードは設定および変更した場合に選択できます。

3 保存するフォルダーを選択し、[保存]をクリックする。

各機能を設定するときに管理者アカウントの情報やスーパーバイザーパスワードが必要となる項目を保存する場合は、次の画面が表示されます。

- 項目を入力し、[確定]をクリックするとパスワードなどがプロファイルに保存されるため、読み込み時にパスワードの入力が不要になります。
- [省略する]をクリックするとパスワードなどはプロファイルに保存されません。読み込み時にパスワードの入力が必要になります。

●読み込み
プロファイルの内容を読み込み、セキュリティ機能を設定します。

1 [プロファイル読込み]をクリックする。

2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックする。

保存時に、権限情報入力画面で[省略する]をクリックしたプロファイルを読み込んだ場合は、コンピューターの管理者権限の情報またはスーパーバイザーパスワードの入力画面が表示されます。

テキスト画面に実行結果が表示されます。このテキストデータは、マイドキュメントの中のssulog.txtというファイルに保存されます。

メモ

セキュリティ設定ユーティリティを起動せずにプロファイルを読み込むこともできます。正常に読み込めた場合は実行結果が表示されません。

●エクスプローラーなどでプロファイルをダブルクリックする

●セキュリティ設定ユーティリティを起動するときに引数で指定する（ネットワーク管理者向け）

ワイルドカードは使用できません。

重要

●以下の機能を解除する設定は、セキュリティの問題上プロファイルに保存できません。
- **データ実行防止機能**
- **ハードディスク保護**

●設定済みの起動時のパスワード（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード）は、プロファイル読み込み時に変更することはできません。

●以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにスーパーバイザーパスワードの入力が必要です。スーパーバイザーパスワードが保存されていないプロファイルを読み込んで、以下の機能を設定する場合も入力が必要になります。
- データ実行防止機能
- ハードディスク保護

●以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにWindowsの管理者権限が必要です。管理者のユーザー名とパスワードが保存されていないプロファイルを制限ユーザーが読み込んで、以下の機能を設定する場合も管理者のユーザー名とパスワードが必要になります。
- Windowsファイアウォール
- 自動更新
- 制限ユーザーの作成
- ログオン方法

●管理者が作成したプロファイルに「制限ユーザーの作成」が含まれている場合、制限ユーザーがそのプロファイルを読み込んでも作成された制限ユーザーを確認することはWindowsの仕様上できません。

●離席時の動作/省電力からの復帰時の動作におけるパスワードは、管理者アカウントでのみ設定できます。

●暗号化ファイルシステムで暗号化したフォルダーを複数作成した場合、最後に作成したフォルダーの情報のみプロファイルに保存されます。

使用上のお願い

- セキュリティ設定ユーティリティ使用中は、Windows上で同様の設定/変更は行わないでください。
- Windowsのログオンパスワード/制限ユーザーの作成について
  Windowsのセキュリティを安全性の高い設定にしていたり、他のセキュリティソフトを使っていたりすると、作成するパスワードやユーザーアカウントに特定の条件（文字数や複雑さなど）が必要になる場合があります。
- パスワードの入力は、大文字/小文字の違いに注意してください。
  Caps Lockがロックされていたり、NumLkを押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- Windowsのパスワードとして、漢字などの全角文字は入力できません。
- 一部のユーザーアカウントは、Windowsのシステム設定によって、表示されない場合があります。
- [離席時の動作]で設定されるスクリーンセーバーについて
  c:¥windowsおよびc:¥windows¥system32のフォルダーにインストールされているスクリーンセーバーを一覧で表示します。一覧に表示された識別名またはファイル名を選択してください。

- [離席時の動作]の[パスワードによる保護]のメニュー名について
  「ようこそ」画面を使用する設定の場合、Windowsのスクリーンセーバーを設定する画面では[パスワードによる保護]とは違うメニュー名が表示される場合があります。
- パソコンまたはご使用のアカウントがドメインに参加している場合、セキュリティ設定ユーティリティはご使用いただけません。

使ってみる

バッテリーについて

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)」(以降、JEITA測定法と表記)を採用しています。

重 要

本書やカタログなどに記載のJEITA測定法に基づいて測定された数値は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたりすると、JEITA測定法の約7 ～ 8割の駆動時間になります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA測定法に基づいて測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均をとった値です。

●**負荷をかけた状態での測定方法(測定法a)**
内部LCDの輝度(明るさ)を20cd/m^2(最も暗い状態から[Fn]+[F2]を4回押した状態)に設定し、指定の動画ファイル(MPEG1形式)をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。

●**負荷をかけない状態での測定方法(測定法b)**
内部LCDの輝度を最も暗い状態([Fn]+[F1]を繰り返し押し、それ以上暗くならない状態)に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

詳細な測定方法については、JEITAのWebページ(http://it.jeita.or.jp/mobile/)をご覧ください。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「消費電力を節約する」もご覧ください。

●[Fn]+[F1]で内部LCDの明るさを暗くする

●使わないときは電源を切る

●使わない周辺機器(USB機器、PCカード、外部マウス)は取り外す

●[電源設定]を変更する

●メモリーとビデオの省電力設定を使う
セットアップユーティリティの「メイン」メニュー(➜ 53ページ)の[メモリー /ビデオ省電力]を[バッテリー優先]にします。

●スタンバイ・休止状態を活用する

●省電力設定ユーティリティを使う

●新しいバッテリーパックを使う

●満充電されているバッテリーパックを使う

●通信しないときは無線LANの電源を切る

●CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトは使用しない
アプリケーションソフトによっては、起動するだけでもCPUに大きな負荷がかかるものがあります。

●エコノミーモード(ECO)を無効にする

バッテリーパックの劣化を抑える

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点を守ってください。

●エコノミーモード(ECO)を有効にして使う

●外気温が10℃～30℃の場所で充電する

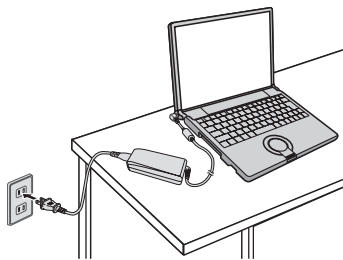
●バッテリーの充電は1日1回以内

●本機の電源を切った状態で充電する

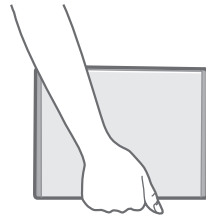
エコノミーモード（ECO）

エコノミーモード（ECO）を有効にすると、バッテリーの充電を満充電の80％までで停止します。100％（満充電）にしないことでバッテリーパックへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。工場出荷時は、エコノミーモード(ECO)は無効に設定されています。
使い方に合わせてエコノミーモード（ECO）を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

ACアダプターの接続が多いとき

●エコノミーモード（ECO）有効

- **満充電の80％までで充電を停止するため、バッテリーパックの劣化が抑えられます。**
- **長時間のバッテリー駆動が必要でない場合におすすめします。**

持ち運ぶことが多いとき

●エコノミーモード（ECO）無効

- **100％まで充電できます。**
- **バッテリーの駆動時間を優先するときにおすすめします**

エコノミーモード(ECO)の切り替え

画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[エコノミーモード(ECO) 有効]または[エコノミーモード(ECO) 無効]をクリックしてください。

または が表示されていない場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バッテリー]-[エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ]をクリックしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「（バッテリー)」をご覧ください。

次回すぐに操作をはじめるには

スタンバイ・休止状態機能を使うと、アプリケーションソフトを終了することなく、電源を切ることができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示される（これを「リジューム」といいます）ので、すぐに操作を始めることができます。

スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	リジュームまでの時間
スタンバイ	メモリー	短い
休止状態	ハードディスク	やや長い

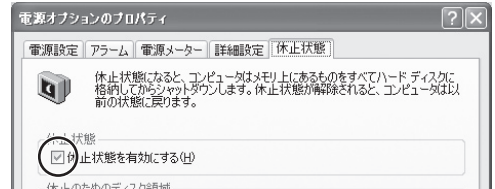
機能	ACアダプターの接続またはバッテリーパックの取り付け
スタンバイ	必要 スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
休止状態	不要 データ保持のために電力は必要ありません。しかし、ACアダプターを接続またはバッテリーパックを取り付けているとき、本体は電力を消費します。

休止状態機能の有効/無効を切り替える

工場出荷時は休止状態機能が有効に設定されています。休止状態機能の有効/無効を切り替える場合は、次の手順で設定してください。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]をクリックする。

2 [休止状態]をクリックする。

3 [休止状態を有効にする]をクリックし、チェックマークを付ける/外す。

4 [OK]をクリックする。

スタンバイや休止状態に移行するまでの時間を変更する

操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、スタンバイ状態などに移行します。
移行するまでの時間を変更したり、ディスプレイの電源が切れないようにする場合は、次の手順で設定してください。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]をクリックする。

2 [電源設定]で、[システムスタンバイ]または、[システム休止状態]の時間を変更する。

スタンバイまたは休止状態に入らないようにするには[なし]に設定します。
ディスプレイの電源が切れないようにするには、[モニタの電源を切る]を[なし]に設定します。

3 [OK]をクリックする。

再度各機能を使用する場合は、手順2で移行するまでの時間を設定してください。

スタンバイ・休止状態にする

スタンバイ・休止状態にするには、4つの方法があります。
スタンバイ・休止状態になるまで1 ～ 2分程度かかる場合があります。そのままお待ちください。

Fn キーを使う

- スタンバイ状態にする
  Fn + F7 を押します。
- 休止状態にする
  Fn + F10 を押します。

Windowsの終了画面を使う

- スタンバイ状態にする
  [スタート]-[終了オプション]をクリックし、[スタンバイ]をクリックします。
- 休止状態にする
  [スタート]-[終了オプション]をクリックし、Shiftを押しながら[休止状態]をクリックします。

電源スイッチをスライドする

電源スイッチをスライドし、ビープ音が鳴ったらすぐに電源スイッチから手を離します。工場出荷時はスタンバイ状態になります。

電源スイッチから手を離した後、電源状態表示ランプが消灯または点滅するまで電源スイッチを操作しないでください。

電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピッという音の後、スタンバイ・休止状態機能が働かず電源が切れます（強制終了)。この場合、保存していないデータは失われます。

Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。また、Fn + F5 を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スタンバイではなく休止状態にしたり、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スタンバイ・休止状態に入りません。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックする。

2 [コンピュータの電源ボタンを押したとき]の設定を変更し、[OK]をクリックする。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると、設定に従ってスタンバイ状態または休止状態に入ります。工場出荷時はスタンバイ状態になります。きちんとディスプレイを閉じていなかったり、ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けたりすると、スタンバイ・休止状態に入らないことがあります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スタンバイではなく休止状態にしたり、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スタンバイ・休止状態に入りません。

次回すぐに操作をはじめるには

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックする。

2 [ポータブルコンピュータを閉じたとき]の設定を変更し、[OK]をクリックする。

リジュームする（スタンバイ・休止状態からの復帰）

リジュームするには、2つの方法があります。

電源スイッチをスライドする

ディスプレイを開ける

[ポータブルコンピュータを閉じたとき]を[スタンバイ]または[休止状態]に設定している場合または、スタンバイ・休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合は、ディスプレイを開けるとリジュームします。
リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

使用上のお願い

スタンバイ･休止状態に入る前から、リジュームが完了するまでの間、それぞれ次のことにご注意ください。
なお、パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わないでWindowsを終了してください。

スタンバイ・休止状態に入る前

●保存していないデータや編集中のファイルを保存してください。
SDメモリーカード、外付けのCD/DVDドライブ、ハードディスク、ATAカードなどの外部装置のファイルを開いているときは、ファイルを閉じてください。

●リジューム時にはセットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。
セキュリティのため、パスワード入力画面を表示したい場合は、Windowsのログオンパスワードを設定し、[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]の[詳細設定]で[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]にチェックマークを付けてください。また、データの盗難防止や機密保護などセキュリティを重視される場合は、スタンバイ・休止状態を使用せずに電源を切ることをおすすめします。

●次の場合、スタンバイ・休止状態に入らないでください。
実行中のファイルやデータが壊れたり、これらの機能や周辺機器およびWindowsが正常に動作しなくなったりすることがあります。

- ハードディスク状態表示ランプ、SDメモリーカード状態表示ランプの点灯中（ドライブやカードへのアクセス中）
- オーディオの録音/再生中や、MPEGファイル/DVD-Videoの再生中
- ディスク（CDやDVDなど）への書き込み中

使ってみる

- 通信ソフトやネットワーク機能使用時（LAN Wake Up機能を使わない場合）
  リジュームした後、ネットワーク接続ができなかったり、Windowsが正常に動作しなくなったりすることがあります。
- 周辺機器を使っている場合
  スタンバイ・休止状態機能を使ってこれらの機器が正常に動かなくなったときは、本機を再起動してください。

スタンバイ・休止状態処理中

スタンバイの場合は電源状態表示ランプ⏻が点滅するまで、休止状態の場合は電源状態表示ランプ⏻が消灯するまで、次のことを行わないでください。

- キーボードやホイールパッド、電源スイッチの操作
- 外部マウスなど、周辺機器の操作
- ACアダプター/SDメモリーカードの抜き挿し
- ディスプレイの開閉
- 無線LAN切り替えスイッチの操作

スタンバイ・休止状態のとき

●周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

●スタンバイ状態のままで長時間使わない場合は、必ずACアダプターを接続しておいてください。

スタンバイ状態のときは、電力が消費されています。特に、通信用のPCカードをセットしたままの場合、消費電力が増えることがあります。電力の供給がなくなると保持されていたデータが失われますので、長時間スタンバイ機能を使う場合は、必ずACアダプターを接続してください。
ACアダプターが接続できない場合は、データ保持のためスタンバイ状態の代わりに休止状態にしておくことをおすすめします。

●持ち運ぶ際はスタンバイ・休止状態機能を使わないで電源を切ってください。

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]で[システム休止状態]の時間を[システムスタンバイ]よりも長く設定すると、スタンバイ後一定時間が経過して自動的に休止状態へ移行する際に、一時的に電源が入ります（工場出荷時の設定では、[システム休止状態]は[なし]に設定されています）。
本機を持ち運ぶ際はいったんリジュームさせ、通常の手順で電源を切ってください。

リジューム後

リジューム後、Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで（画面が復帰して約15秒後/ネットワークに接続している場合は約60秒後）、次のことを行わないでください。

- キーボード（パスワードの入力は除く）やホイールパッド、電源スイッチの操作
- 外部マウスなど、周辺機器の操作
- ACアダプターやSDメモリーカードの抜き挿し
- ディスプレイの開閉
- Windowsの終了や再起動
- スタンバイ・休止状態機能の使用
- 無線LAN切り替えスイッチの操作

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが1つ用意されています。別売りのRAMモジュールを増設し、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。

重 要

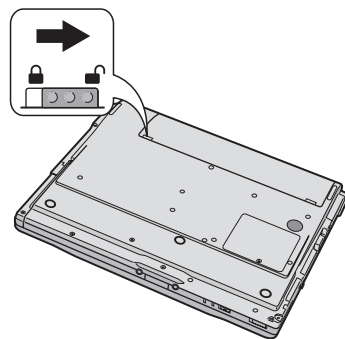
次のことにご注意ください。

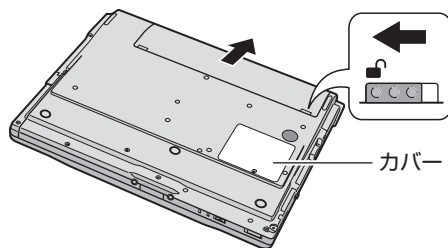
- RAMモジュールはCF-BAW0512Uなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨品以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 増設可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」(➜ 79ページ）をご覧ください。
- 推奨品以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、本体の電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
  スタンバイ・休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。
- クリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。
- ネジ山をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

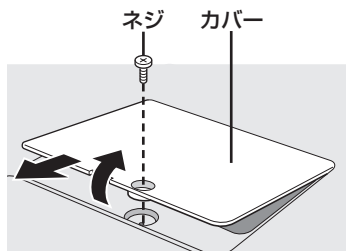
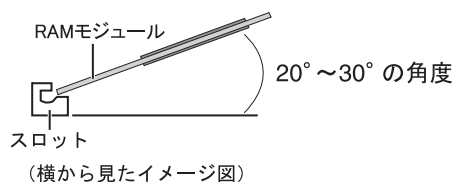
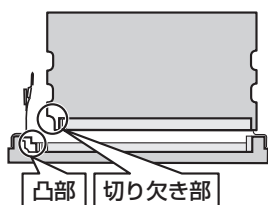
RAMモジュールの取り付け

1 パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。

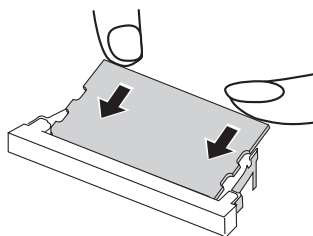
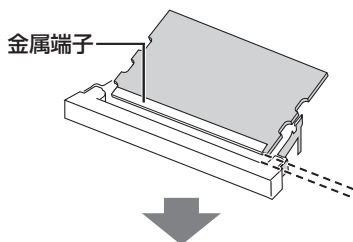
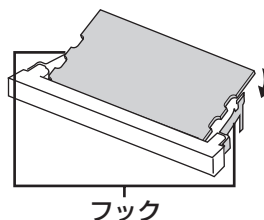
2 本体を裏返す。

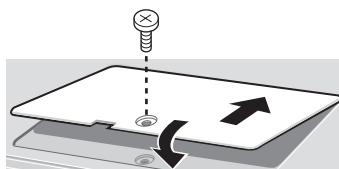
3 バッテリーパックの左側のラッチ（手動）をロック解除🔓の方向にスライドする。

4 右側のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、バッテリーパックの中央付近を本体と平行に外側へ押し出す。

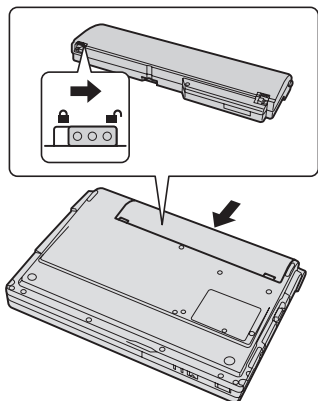
ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

5 ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。

拡張メモリースロットの位置は手順4をご覧ください。

6 スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。

7 金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。

●挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。

●しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 左右のフックでロックされるまで倒す。

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 カバーを斜めから挿し込んで取り付け、ネジで固定する。

10 **バッテリーパックの左側のラッチ（手動）をロック解除🔓の方向にスライドさせ、バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。**

バッテリーパックの向きに注意してください。

11 **左側のラッチ（手動）をロック🔒の方向にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。**

右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 **ACアダプターを取り付ける。**

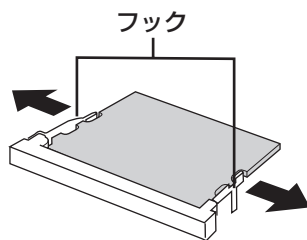
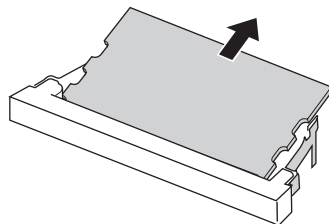
メモ

- RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨品以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れたときに「増設RAMモジュールエラーです」というエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。
- 増設したメモリーサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➜ 52ページ）の[メモリーサイズ]で確認できます。工場出荷時のメモリーサイズは「仕様」（➜ 79ページ）のメインメモリーをご覧ください。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順1〜5の後、次の手順で取り外してください。

1 **左右のフックを外側にゆっくりと広げる。**

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 **ゆっくりとスロットから取り外す。**

3 **カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➜ 46ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9〜12）**

使ってみる

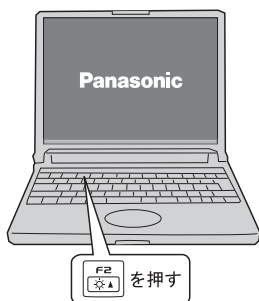
セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1 本機の電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押す。

3 パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、パスワードを入力し、Enter を押す。

メ モ

- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn + F3 を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
- パスワードを設定していて[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。
- F2 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。
  Windowsを終了して起動し直してください。

終了する

1 ← → または Esc を押して、「終了」メニューを表示する。

2 終了方法の項目を選んで Enter を押す。

3 [はい]を選んで Enter を押す。

使う人ごとに設定できる項目を制限する

「起動する」(➜49ページ)の手順3で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

例えば、本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。パソコンに詳しくない人など、設定できる項目を制限したい人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。

●**スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

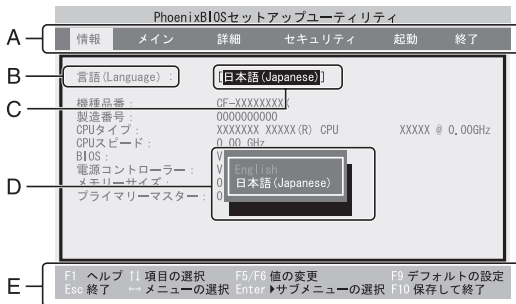
●**ユーザーパスワードを入力した場合**

次のような制限があります(可能:○、不可能:×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー	○	×
「セキュリティ」メニュー:[データ実行防止機能]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[SDによる起動]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[SDのセット方法]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[登録されたSDの解除]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Boot First Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード設定]	○	○*1
「セキュリティ」メニュー:[内蔵セキュリティ(TPM)設定]	×*2	×*2
「終了」メニュー:[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー:[ハードディスク リカバリー/消去]	×	×

*1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

*2「内蔵セキュリティ(TPM)設定」サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、参照/変更が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. ←→を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は↑↓を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目はEnterを押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは↑↓を押して項目を選ぶことができます。

E. 設定に使えるキーを表示しています。

設定に使うキー

F1 ：ヘルプを表示（↑↓でヘルプの画面を１行ずつスクロールする。F1を再度押すとヘルプの画面を閉じる）。

Esc ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

↑↓ ：カーソルを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

←→ ：「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選択。

F5 ：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

F6 ：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

Enter ：↑↓で項目を選んだ後に各設定できる項目のサブメニューを表示。

F9 ：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

F10 ：設定を保存して終了。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English 日本語（Japanese）
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ プライマリーマスター	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム時間	24時間制です。Tabでカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付	Tabでカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）／使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左Ctrlキー	内部キーボードの Fn と Ctrl（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）／入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 入れ換えた場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）と Ctrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、内部LCDに表示されます。Windows起動後は、[スタート]-[コントロールパネル]をクリックし、[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) GMA Driver for Mobile]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD
拡張表示	Windowsが起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
メモリー／ビデオ省電力	システムメモリーとビデオの省電力を設定します。[パフォーマンス優先]では、メモリーのコアクロックを最大533MHzに、ビデオのレンダークロックを最大166MHzに設定します。[バッテリー優先]では、メモリーを最大400MHzに、ビデオを最大133MHzに設定し消費電力を抑えます。	パフォーマンス優先 バッテリー優先
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプ を点灯する／明滅するを設定します。	点灯 明滅

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
モデム	内蔵モデムの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
LAN	内蔵LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
無線LAN	内蔵無線LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
PCカードスロット	PCカードスロットを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
USBポート	USBポートを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボードやUSBフロッピーディスクドライブ、USB CD/DVDドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します（[USBポート]が[有効]に設定されている場合のみ、効果があります）。	無効 有効

「セキュリティ」メニュー

[SDによる起動]、[SDのセット方法]、[登録されたSDの解除]は、SDメモリーカードによる認証の設定を行ったときのみ表示されます。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
データ実行防止機能	データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）/使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。	無効 有効
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）/必要としない（無効）を設定します。	無効 有効
SDによる起動	起動時のパスワード入力の代わりにSDメモリーカードを使う（許可）/使わない（禁止）を設定します。 SDメモリーカードを登録すると、[許可]に設定されます。 [起動時のパスワード]が[無効]に設定されているときは設定できません。	禁止 許可
SDのセット方法	起動時のパスワード入力の代わりにSDメモリーカードを使う場合、カードのセット方法を[セットしたまま]または[セットして抜く]に設定します。 [SDによる起動]が[許可]に設定されているときのみ設定できます。 [起動時のパスワード]が[無効]に設定されているときは設定できません。	セットしたまま セットして抜く
登録されたSDの解除	現在登録されているすべてのSDメモリーカードが、起動時のパスワード入力の代わりに使えなくなるよう登録を解除します。	サブメニュー表示
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot First Menu	「起動時のメニュー」を表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。 「起動時のメニュー」は、電源を入れ「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押すと表示されるデバイス選択画面です。	無効 有効
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
内蔵セキュリティ(TPM)設定	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ(TPM)設定]を表示する(保護しない)/表示しない（保護する）を設定します。 • 内蔵セキュリティチップ（TPM） 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 • 所有者情報の初期化 内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化することで内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 Escを押すと、設定を保存してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。

設定する前に、必ず 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「パソコン起動時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 **パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2を押してセットアップユーティリティを起動する。**

3 **←→で[セキュリティ]を選ぶ。**

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[ユーザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
●ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 **[新しいパスワードを入力してください]の[　　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。**

●入力したパスワードは画面には表示されません。
●パスワードに使える文字は、半角の英数字とスペースで最大32文字です。
- 大文字、小文字の区別はありません。
- 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- ShiftやCtrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 **[新しいパスワードを確認してください]の[　　　　　]の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。**

6 **確認の画面で[Enter]を押す。**

7 **[F10]を押し、[はい]を選んで[Enter]を押す。**

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

●**お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。

●**スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。

●**ユーザーパスワードを忘れてしまった場合**
セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

●**本機の修理を依頼される場合**
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。
ハードディスク保護は、ハードディスクそのものにパスワードを設定し、正しいパスワードなしではハードディスク内の情報が読めないように保護する機能です。
ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 **セットアップユーティリティを起動する。(→55ページ手順1と2)**
パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、設定してください。(→55ページ)

2 **[←][→]で[セキュリティ]を選ぶ。**
スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
[↑][↓]で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、[Enter]を押す。

3 **[↑][↓]で[ハードディスク保護]を選び、[Enter]を押す。**

4 **[↑][↓]で[有効]を選び、[Enter]を押す。**

5 **確認の画面で[Enter]を押す。**

6 [F10]を押し、[はい]を選んで[Enter]を押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「起動」メニュー

「起動」メニューには、接続されている機器の名称が表示されます。
次の方法でオペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。

- 優先順位を1つ上げる
  [↑][↓]で[起動順位]内のデバイスを選択して[F6]を押す。
- 優先順位を1つ下げる
  [↑][↓]で[起動順位]内のデバイスを選択して[F5]を押す。
- 起動順位を工場出荷時の設定に戻す
  [1]を押す。
  工場出荷時は、USB FDD→IDE HDD→USB CDD→PCI LANの順番に設定されています。
- [起動対象外]のデバイスを[起動順位]に移動する（またはその逆）
  [↑][↓]でデバイスを選択して[X]を押す。
  [起動対象外]から[起動順位]へ移動した場合は、移動したデバイスは最後尾に表示されます。必要に応じて、起動順位を設定してください。

メモ

●USBポートに接続している機器から起動する場合、次の設定になっていることを確認してください。
- 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
- 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]

●同一の機器が複数接続されている場合、1つの機器の名称だけが表示されます。

●オペレーティングシステムを起動するデバイスは、本機の起動時にも選択できます。
電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐに[Esc]を押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。実際に起動可能なデバイスのみ表示します。
- セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。
- 「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示します。

●起動できる別売りのフロッピーディスクドライブおよびCD/DVDドライブについては、付属の『準備と設定ガイド』をご覧ください。

●[起動対象外]に表示されているデバイスからは起動できません。また、優先順位も変更できません。

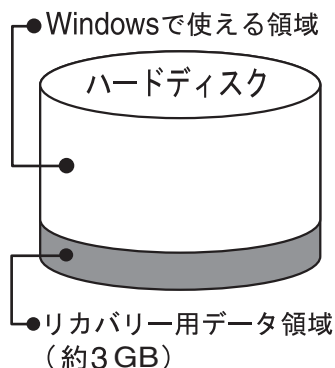
「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。
ハードディスク リカバリー／消去	工場出荷時の状態に戻します。またはハードディスクの内容を消去します。 実行する前に、必ず「再インストールする（パーティションを変更する）」（➡59ページ）または「本機の廃棄･譲渡時にデータを消去する」（➡63ページ）をお読みください。

再インストールする（パーティションを変更する）

重　要

<u>ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。</u>

本機は、再インストール（パソコンに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データは約3 GBあります。

誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データ領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、特別な手段を講じて、この領域を削除したり、領域内のデータを削除／変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。絶対にこれらの操作を行わないでください。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。

- OS用も含め、パーティションは3つまでにしてください。
- リカバリー用データは、他のメディアや外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。
- リカバリー用データ領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合や、ハードディスクを2つのパーティションに分割して使用する場合は、再インストールが必要です。

次の流れで再インストールしてください。

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

▼

再インストールする（約10 分）。 （ここでパーティションの変更を設定します。）

▼

Windows のセットアップとユーザーアカウントの作成を行う。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

▼

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。 ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windowsを最新の状態にする」

パーティションの変更

パーティションとは、ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。
1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することができます。複数のパーティションを作成した場合には、1つのディスクを複数のディスクのように扱うことができます。

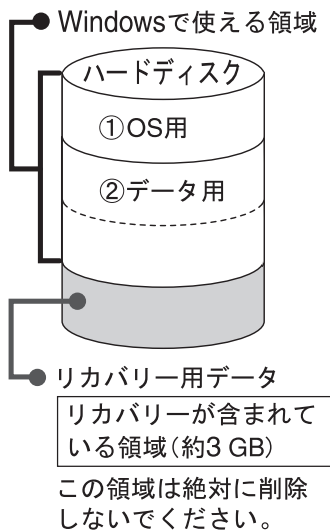
使ってみる

再インストールする（パーティションを変更する）

●工場出荷時、ハードディスクのパーティションは1つです。

- パーティションを2つに分割する場合は、再インストールが必要です。
- OS用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。
- 3つのパーティションを作成したい場合は、再インストール後、Windowsの「ディスクの管理」を使って2つ目のパーティションを削除してから、空いた領域にパーティションを作成してください。

●データ用パーティション作成後、再インストールするときは次の点に気を付けてください。

- 最初のパーティション（①OS用）にWindows を再インストールする場合：
  ②のデータは維持されます。
  ただし、「②データ用」を3つに分割して4番目のパーティションを作成していた場合、4番目のパーティションは再インストールの際にリカバリー用データ領域として扱われるため、削除されます。
- 上記以外の方法で再インストールする場合：
  ①および②のデータはすべて削除されます。

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続の外付けCD/DVDドライブを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

●パーティションテーブルの第4エントリーにあるパーティション*1のデータは削除されますので、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にバックアップを取っておいてください。

●バックアップを取るときは、ドライブ名を確認してください。パーティションの順番やドライブ名は、パーティションの構成や周辺機器の接続、パーティションを作成したときの条件により変動します。

確認方法の一例
[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[管理]-[ディスクの管理]をクリックする。

*1 特殊な方法でパーティションを作成すると、Windows上で見える4番目のパーティションと一致しない場合があります。

重 要

●インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

●データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

使ってみる

再インストールする

再インストールの途中で電源を切ったり[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押したりするなどして、再インストールを中止しないでください。

Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]を押し、セットアップユーティリティを起動する。

●パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter]を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

●ユーザーパスワードでは[ハードディスク リカバリー /消去]が表示されません。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す[F9]は使えません。

お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

3 [F9]を押す。

次の画面で[はい]を選び、[Enter]を押してください。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　[いいえ]

4 [←]と[→]を使って「終了」メニューに移動し、[↑]と[↓]を使って5行目の[設定を保存する]を選んで[Enter]を押す。

確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、[Enter]を押してください。

● 62ページの手順11が完了するまでは、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。

●セットアップユーティリティが終了してパソコンが再起動してしまった場合、1行目の[設定を保存して終了]を選んでいます。パソコンの電源を切り、手順2からやり直してください。

5 [↑]と[↓]を使って6行目の「ハードディスク リカバリー / 消去」を選び、[Enter]を押す。

確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、[Enter]を押してください。

メモ

●次の場合は、ご相談窓口にご相談ください。

- 「ハードディスク リカバリー /消去」が表示されない
- 再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

ハードディスク内のリカバリー用データ領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

●パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合

- すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
  [はい]を選んでください。
  パーティションは消去されます。
- まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
  [いいえ]を選んでください。
  操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（➜60ページ）

6 [1]を押して[1.【リカバリー】]を実行する。

（以降の画面はすべて一例です。）

```
番号を選択してください。
1. 【 リカバリー 】 Windows を再インストールする。
2. 【  HDD消去  】 セキュリティのためハードディスクの内容を消去する。

0. 【   中止   】 中止する。
番号を選択してください。>> _
```

使ってみる

再インストールする（パーティションを変更する）

再インストールを実行するための条件が表示されます。

7 同意する場合は[1]を押し、同意しない場合は[2]を押す。

- [1]を押すとメニューが表示されます。
- [2]を押すと再インストールを中止します。

```
本ソフトウェアを使用して再インストールを実行するためには，以下の条文に
同意していただく必要があります。
(1) 本ソフトウェアは、お買い上げ時のパーソナルコンピューターとハードディスク
    ドライブとの組み合わせでのみ使用できます。他の組み合わせで使用することは
    できません。
(2) ハードディスク リカバリーシステムに含まれるソフトウェアは、取扱説明
    書に記載のソフトウェア使用許諾書の適用を受けます。

1．はい、  上記の条文に同意します。処理を続けます。
2．いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。
番号を選択してください。>> ___
```

8 再インストールの方法を選ぶ。

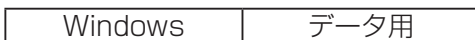
```
番号を選択してください。
                    再インストールOS：Windows(R) XP Professional
1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。
2. OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションに
   Windowsを再インストールする。
   （既存のパーティションはすべてなくなります。）
3. 最初のパーティションにWindowsを再インストールする。

0. 再インストールを中止する。
番号を選択してください。>>_
```

再インストールには、次の3つの方法があります。

●工場出荷時の設定（パーティションは1つ）にする場合

Windows

[1]を押す。

●パーティションを2つに分割する（OS用とデータ用）場合

Windows	データ用

[2]を押してOS（Windows）用パーティションのサイズ（GB単位）を数字で入力し、[Enter]を押す。

- 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
- 利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（データ用は1GB以上）
- 機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

●パーティション構成を変更せず、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合

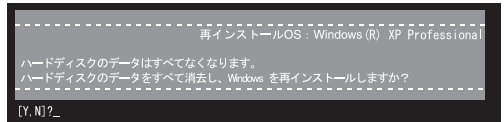
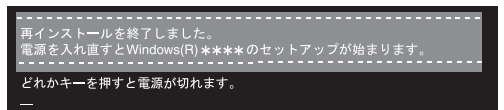
Windows (14GB以上必要)		

[3]を押す。

9 確認のメッセージが表示されたら、[Y]を押す。

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切ったり、[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押したりするなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

```
                    再インストールOS：Windows(R) XP Professional
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか？
[Y,N]?_
```

10 次のメッセージが表示されたら、何かキーを押す。

```
再インストールを終了しました。
電源を入れ直すとWindows(R) ****のセットアップが始まります。
どれかキーを押すと電源が切れます。
_
```

パソコンの電源が切れます。

11 電源を入れ、Windowsのセットアップを行い、ユーザーアカウントを作成する。

（➡『準備と設定ガイド』5 ～ 10ページ）

12 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

13 インターネットに接続できる場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- リカバリー用データは消去されません。

データをすべて消去する

1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

- ユーザーパスワードでは[ハードディスク リカバリー /消去]が表示されません。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード､システム時間､システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

3 F9 を押す。

次の画面で[はい]を選び、Enter を押してください。

セットアップ確認

デフォルト値をロードしますか？

[はい]　　[いいえ]

4 ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って6行目の[ハードディスク リカバリー /消去]を選んで Enter を押す。

確認のメッセージが表示されますので、[はい]を選び、Enter を押してください。

使ってみる

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

メモ

●次の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- [ハードディスク リカバリー／消去]が表示されない
- 再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

ハードディスク内のリカバリー用データ領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

●パーティションテーブルの第4 エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
- すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
  [はい]を選んでください。
  パーティションは消去されます。
- まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
  [いいえ]を選んでください。
  操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
  あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（➜ 60ページ）

5 **「番号を選択してください」というメッセージが表示されたら、[2]を押して[2.【HDD消去】]を実行する。**

[0]（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。

6 **確認のメッセージが表示されたら、[Y]を押す。**

ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

（以降の画面はすべて一例です。）

7 **「<<<スタートメニュー>>>」で[Enter]を押す。**

```
ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                  (C) ****  松下電器産業株式会社
----------------------------------------------------------------
<<<スタートメニュー>>>
  ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
  全て上書きすることにより消去します。
  必要なデータはバックアップを作成してください。
  メッセージに従って操作キーを選択してください。
   (次へ：Enterキー, 中止：その他のキー)..._
```

8 **消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから[　　　]（スペースキー）を押す。**

```
ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                  (C) ****  松下電器産業株式会社
----------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     : ******** ( ******** )
             ディスク容量     : *****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    (はい：スペースキー, いいえ：その他キー)..._
```

9 **メッセージの内容を確認してから[Enter]を押す。**

```
ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                  (C) ****  松下電器産業株式会社
----------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     : ******** ( ******** )
             ディスク容量     : *****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    (はい：スペースキー, いいえ：その他キー)...[はい]

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユ-ティリティを実行するとデータは元に戻り
   ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか？
    (実行：Enterキー, 中止：その他のキー)..._
```

●ハードディスクのデータ消去が開始されます。
●万一、途中でデータ消去を中断する場合は、[Ctrl]+[C]を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

10 **「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されたら、何かキーを押す。**

●パソコンの電源が切れます。
●何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

起動／終了／スタンバイ・休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、66 ～ 78ページで解決方法を確認してください。

トラブルの状況が見当たらない場合は、 スタート - 操作マニュアル をクリックして 『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない／バッテリー状態表示ランプ が点灯しないときは？	ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。 ➜付属の『準備と設定ガイド』
	バッテリーパックのラッチがロックの方向にあり、しっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設している場合は、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●本機の電源を切り、推奨品のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」（➜46ページ）または「仕様」（➜79ページ）をご覧ください。
	CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しないときは？	電源状態表示ランプが点灯している場合は、電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 （➜51ページ）
	周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）にF8を押し続ける。 ②「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離す。 ③ ↑↓で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enterを押す。 以降は、画面に従って操作してください。
ビープ音（ピーピー）が鳴り、「増設RAMモジュールエラーです」または「標準RAMのエラーです」と表示されるときは？	「増設RAMモジュールエラーです」と表示された場合は、RAMモジュールが正しく取り付けられていません。電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。
	「標準RAMのエラーです」と表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
Windowsを起動すると、チェックディスク(CHKDSK)が始まるときは？	SDメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出しませんでしたか？チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。 ➜『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SDメモリーカードを使う」
SDメモリーカードでWindowsにログオンできないときは？	Windowsのユーザー名とパスワードが、SDメモリーカードに正しく設定されていません。 SDメモリーカードを使わずにWindowsのユーザー名とパスワードを入力してください。 ログオンした後、[SDカード設定]でSDメモリーカード側の設定を変更し、同じユーザー名とパスワードをWindowsにも設定してください。 ➜『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「SDメモリーカードで認証する」
	セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[SDスロット]を[有効]に設定してください。

起動／終了／スタンバイ・休止状態のQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td>Administratorのユーザーアカウントでログオンしたいときは？</td><td>「Administrator」のアカウントでログオンするには、ログオン画面で Ctrl + Alt + Del を2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力します。パスワードを設定していた場合はパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">フロッピーディスクから起動できないときは？</td><td>パナソニック製外部FDD（品番：CF-VFDU03U）を接続しているか確認してください。他のフロッピーディスクドライブからは起動できません。</td></tr>
<tr><td>パソコンの電源を切り、外部FDDを接続し直してください。</td></tr>
<tr><td>起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>セットアップユーティリティを起動し、次の設定を確認してください。
●「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
●「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]
●「起動」メニューで[USB FDD]が[起動順位]の一番上に表示</td></tr>
<tr><td rowspan="3">「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示されたときは？</td><td>システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。セットされている場合は、取り出してから、何かキーを押してください。</td></tr>
<tr><td>USB機器を接続している場合は、USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。
セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ</td></tr>
<tr><td>設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。
●再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。（➜59ページ）</td></tr>
<tr><td>「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示されたときは？</td><td>バッテリー残量表示補正を実行した後、「プログラムの終了」画面で[キャンセル]をクリックした可能性があります。[キャンセル]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。
●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。</td></tr>
</table>

質　問	対　策
Windowsの起動が遅いときは？	セットアップユーティリティの「終了」メニューで、工場出荷時の設定に戻す。 　セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ
	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。
	メモリー容量を増やしてください。
	ディスクデフラグを実行してください。
	なお、動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。
スタンバイ・休止状態からリジューム（復帰）しないときは？	次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。 ● スタンバイ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 ● 周辺機器の取り付け／取り外しを行った。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドし強制終了した。
	バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し、リジュームしてください。

起動／終了／スタンバイ・休止状態のQ&A

質　問	対　策
電源が切れない（Windowsが終了しない）ときは？	周辺機器を接続している場合は、取り外してからWindowsを終了してください。 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ①外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ②[スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③[ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。 ④[チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか？」というメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。 ⑥Windowsを再起動する。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。 チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。

パスワード／メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められるときは？	1ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。
	Aランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。
「パスワードを入力してください」が表示されたときは？	スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 パスワードを入力してください
パスワードの入力画面が表示されないときは？	スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。 次の手順で、Windowsのパスワードを設定し、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定してください。 ①[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。 ②変更するアカウントをクリックして、パスワードを設定する。 ③[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]をクリックしてチェックマークを付ける。 お使いのモデルによっては、[ユーザーアカウント]を再度クリックする操作が必要です。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れたときは？	「ようこそ」画面でCtrl＋Alt＋Delを2回押し、[ユーザー名]に[Administrator]と入力してログオンした後、パスワードを設定し直してください。 「Administrator」のパスワードも忘れてしまってログオンできない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などは消去されます。 パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定してください。
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示されたときは？	システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」（➜ 78ページ）の内容に従って操作してください。
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、68ページをご覧ください。

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短いときは？	カタログや本書の「仕様」（➜79ページ）などに記載されているバッテリーの駆動時間は、「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づき測定された数値です。 バッテリーの駆動時間は、エコノミーモード（ECO）の有効/無効や、使用環境によって異なります（例えば、画面を明るくして使っているときなどは短くなります）。➜40ページ
バッテリー状態表示ランプ が赤色に点灯しているときは？	バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。 ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプ が点滅しているときは？	赤色に点滅している場合は、すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、ご相談窓口にご相談ください。バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。
	オレンジ色に点滅している場合は、次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトが終了し、電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。
バッテリー状態表示ランプ が明滅しているときは？	バッテリーの充電中です。 セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[充電中バッテリー状態表示]を[明滅]に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり（明滅）します。

カーソルのQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ホイールパッド使用時カーソルが動かないときは？</td><td>セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] が [有効] に設定されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>キーボードを操作し、次の手順で外部マウスのドライバーを削除してください。インストールされていると、ホイールパッドが使えないことがあります。
①[Windows]、[R] の順に押し、「devmgmt.msc」と入力して[Enter]を押す。
②[Tab]を押し、[↓] を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、[→] を押す。
③[Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、外部マウスがインストールされているので、[↓]で外部マウスのドライバーを選び、[Del]、[Enter]の順に押し削除する。
④再起動確認の画面で[はい]を選び、[Enter]を押す。
再起動確認の画面が表示されない場合は、[Windows]、[U] の順に押し、[↑][↓][←][→] で[再起動]を選んで[Enter]を押してください。
キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、電源を入れてください。
⑤Synapticsのドライバーを再インストールする。
[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックします。以降、画面の指示に従ってインストールしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カーソルが勝手に動くときは？</td><td>外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください（上記の「ホイールパッド使用時カーソルが動かないときは？」の手順①～④をご覧ください）。</td></tr>
<tr><td>「ホイールパッドを使う」(➜ 32 ページ) をご覧になり、ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">マウス接続時カーソルが動かないときは？</td><td>マウスが正しく接続されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>接続したマウスのドライバーをインストールしてください。
外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。
詳しくは、『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。</td></tr>
<tr><td>不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。
詳しくは、お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>マウス接続時ホイールパッドを無効にするには？</td><td>「ホイールパッドの有効 / 無効を切り替える」（➜ 33 ページ）をご覧になり、USB マウスヘルパーをセットアップしてください。USB マウスヘルパーをセットアップしない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] にしてください。</td></tr>
</table>

画面表示のQ&A

質問	対策
暗い／暗くなったときは？	**Fn+F2を押してください。明るくなります。** ➜29ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されなかったりするときは？	**これは、故障ではありません。** カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください（有効画素が99.998%以上、画素欠けなどが0.002%以下の場合は、故障ではありません）。
一瞬真っ黒になるときは？	省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 ● Fn+F1／Fn+F2で画面の明るさを調整する。 ● ACアダプターを抜き挿しする。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を無効に設定してください。
何も表示されないときは？	電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。CtrlやShiftなど動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、　　（スペースキー）、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わないでください。
	電源状態表示ランプ⏻が点滅または消灯している場合は、スタンバイまたは休止状態になっています。電源スイッチをスライドしてください。
	画面の表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。Fn+F3を押して表示先を切り替えてください。Fn+F3を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。Fn+F2を押して画面を明るくしてください。
残像が表示されるときは？	別の画面を表示してください。 同じ画面を長時間表示させていると残像が表示されることがあります。
画面が乱れるときは？	解像度／色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け／取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。本機を再起動してください。

ハードウェアを診断する

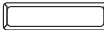
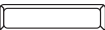
本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」（➜『準備と設定ガイド』の13 ～ 15ページ）をご覧ください。

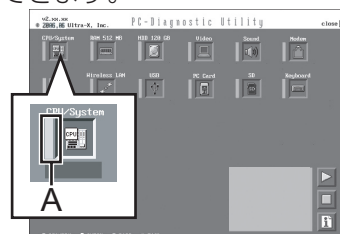
PC-Diagnostic ユーティリティで診断するハードウェア

ソフトウェアは診断できません。

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティのアイコン表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxx MB
ハードディスク	HDD xx GB
ビデオコントローラー	Video
USB	USB
LAN	LAN
無線LAN	Wireless LAN
サウンド*1	Sound
モデム	Modem
ホイールパッド	Touch Pad
内部キーボード	Keyboard
PCカードコントローラー	PC Card
SDカードコントローラー	SD

*1 診断中、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）

PC-Diagnostic ユーティリティについて

●画面は英語で表示されます。
●セットアップユーティリティで「デフォルト設定」にした状態で実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。
●ハードディスクのみ、標準診断と拡張診断を選ぶことができます。
PC-Diagnosticユーティリティ起動時は標準診断を行います。拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。
●Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。
●ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
- 水色：診断していない状態
- 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。
RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
- 緑色：正常と診断
- 赤色：異常と診断

ハードウェアを診断する

ホイールパッドで操作することをおすすめします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	カーソルをアイコンの上に合わせる	[ ]（スペースキー）を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の [close] は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[ ]（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押す

アイコンをクリックすると、次の操作ができます。

- ● [▷] **診断を最初から始める**
- ● [□] **診断を中止する（[▷] をクリックしてテストを途中から再開することはできません）**
- ● [i] **ヘルプを表示する（画面をクリックするか [ ]（スペースキー）を押すと、元の診断画面に戻ります）**

診断する

周辺機器は、あらかじめ取り外しておいてください。

1 ACアダプターを接続する。

診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け／取り外しを行わないでください。

2 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

3 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]を押してセットアップユーティリティを起動する。

●お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

●以降の手順でパスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、[Enter]を押してください。

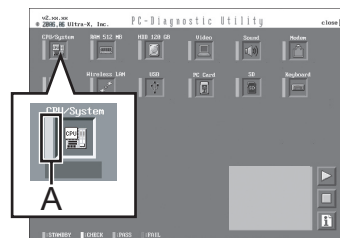
4 [F9]を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押してください。

5 [F10]を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

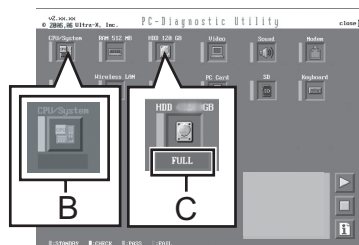
6 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に Ctrl + F7 を押す。

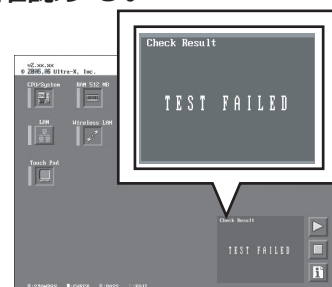
PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。
アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。ホイールパッドが正しく動作しない場合は、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

メモ

次の手順で、特定のハードウェアのみを診断したり、ハードディスクの拡張診断を行ったりできます。

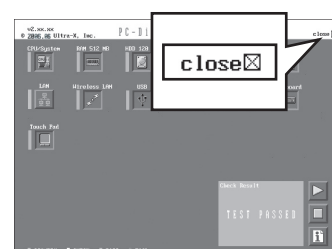
① をクリックして診断を一時停止する。

②診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
ハードディスクの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。

③ をクリックして診断を始める。

7 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。（➔59ページ）

メモ

別売りのRAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合:
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

8 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード一覧

エラーコード／メッセージ	対 処
0211：キーボードエラーです。	●外部キーボードを接続している場合は、取り外してください。
0251：システムCMOSのチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を3 回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ●セットアップユーティリティで、デフォルトの設定（工場出荷時の値）にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。	●エラー内容をメモした後、F2を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOS が正しくインストールされていません。 ●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 • 認識されている場合（「xx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。 • 認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。 ●USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシー USB]を[無効]に設定してください。

セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

●本体仕様

機種名	CF-T5LW4AXR	CF-T5LW4AXP
CPU/ 2次キャッシュメモリー	インテル® Core™ Solo プロセッサー 超低電圧★版U1400、オンダイL2 キャッシュ -2 MB[*1]、動作周波数1.20 GHz、フロントサイド・バス533 MHz	
チップセット	モバイルインテル® 945GMS Express チップセット	
メインメモリー	標準512 MB[*1] DDR2 SDRAM（最大1536 MB[*1]）空きスロット1	
ビデオメモリー	最大128 MB[*1]（メインメモリーと共用）[*2]	
ハードディスクドライブ	60 GB[*3]（Ultra ATA100）	
	上記容量のうち約3 GB[*3] はリカバリー用データ領域として使用（ユーザー使用不可）	
表示方式	12.1 型TFT カラー液晶XGA（1024 × 768 ドット）	
内部LCD表示	1024 × 768 ドット：約1677 万色[*4]	
外部ディスプレイ表示[*5]	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1400 × 1050ドット、1600 × 1200ドット、2048 × 1536 ドット（60 Hz）[*6]：約1677 万色	
本体+外部ディスプレイ同時表示[*5]	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット：約1677 万色[*4]	
無線LAN	インテル® PRO/Wireless 3945ABG ネットワーク・コネクション IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g準拠 （➔81ページ）	
LAN[*7]	100BASE-TX / 10BASE-T	
モデム[*8]	データ：56 kbps（V.90） FAX：14.4 kbps /ボイス非対応 （➔81ページ）	
サウンド機能	PCM 音源（16 ビットステレオ）、インテル® High Definition Audio準拠、モノラルスピーカー	
セキュリティチップ	TPM（TCG V1.2 準拠）	
カードスロット	PC カードスロット（TYPE Ⅱ）× 1 スロット（CardBus 対応､許容電流3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SD メモリーカードスロット[*9] × 1 スロット（著作権保護技術対応）	
拡張メモリースロット[*10]	DDR2 172 ピンマイクロDIMM × 1 スロット（1.8 V / PC2-4200 / DDR2 SDRAM）	
インターフェース	USB ポート× 2（USB2.0 × 2）[*11]、モデムコネクター（RJ-11）[*8]、LAN コネクター（RJ-45）[*7]、外部ディスプレイコネクター（アナログRGB ミニDsub 15 ピン）、マイク入力端子（ステレオミニジャックM3（プラグインパワー対応））、オーディオ出力端子（ステレオミニジャックM3）	
キーボード/ ポインティングデバイス	OADG 準拠キーボード（85 キー）､キーピッチ：19 mm（横）/ 16 mm（縦）（一部キーを除く）/ホイールパッド	
電源	AC アダプターまたはバッテリーパック	
AC アダプター [*12]	入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz / 60 Hz、出力：DC 16 V、2.5 A、電源コードは100 V 専用	
バッテリーパック	11.1 V（Li-ion）、7.65 Ah	
バッテリー駆動時間[*13]	● 付属のバッテリーパック（品番：CF-VZSU37U）を取り付けた場合：約15時間（エコノミーモード(ECO)無効時） ● 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合：約6.5時間（エコノミーモード(ECO)無効時）	
バッテリー充電時間[*14]	● 付属のバッテリーパック（品番：CF-VZSU37U）を取り付けた場合：約5時間（電源オフ時）/約7時間（電源オン時） ● 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合：約4時間（電源オフ/オン時）	

仕様

消費電力/ エネルギー消費効率[15]	最大約40 W[16] / S 区分0.00028 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
外形寸法	幅268 mm ×奥行き210.4 mm ×高さ24.9 mm / 44.3 mm（前部/後部）突起部除く
質量[17]	約1260 g
使用環境条件	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 %RH ～ 80 %RH（結露なきこと）
OS[18]	Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（NTFS ファイルシステム）
導入済みソフトウェア[18]	Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2/Adobe Reader/DMI ビューアー /Microsoft® Windows® Media Player 20/DirectX 9.0c/Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1/Microsoft® .NET Framework 1.1 SP1/2.0/ネットセレクター /SDユーティリティ /ホイールパッドユーティリティ /省電力設定ユーティリティ /hi-hoオンラインサインアップ/フォントサイズ拡大ユーティリティ /ズームビューアー /NumLock お知らせ/無線切り替えユーティリティ /セキュリティ設定ユーティリティ /Hotkey 設定/エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ /バッテリー残量表示補正ユーティリティ /PC情報ビューアー /マカフィー®・ウイルススキャン[19]/goo スティック/Wireless Manager mobile edition 3.0[20]/Infineon TPM Professional Package V2.5 SP1[21]
	セットアップユーティリティ /ハードディスクデータ消去ユーティリティ [22] /PC-Diagnosticユーティリティ [23]

★　既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。

*1　1 MB=1,048,576 B（バイト）。
*2　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*3　1 GB=1,000,000,000 B（バイト）。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。ハードディスクのユーティリティなど使用時はNTFS対応のものをご使用ください。
*4　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
*5　接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。解像度、リフレッシュレートについては、パナソニックパソコンのサポートページ（http://askpc.panasonic.co.jp/index.html）の「よくある質問」をご覧ください。
*6　2048×1536ドットの解像度で外部ディスプレイに表示する場合は、60 Hzのリフレッシュレートをサポートしているディスプレイをお使いください。2048×1536ドットの解像度で、60 Hzのリフレッシュレートをサポートしていない外部ディスプレイを接続すると、正しく表示されない場合があります。
*7　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。
*8　モデムは一般電話回線専用です。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は33.6 kbpsが最大速度です。
*9　容量2GBまでのPanasonic製SDメモリーカードの動作を確認済み。容量4GB以上のSDHCメモリーカードには対応していません。
本機のSDメモリーカードスロットによる転送レートは8MB/秒です（理論値。実際の速度は異なります）。
高速な転送レートに対応したSDメモリーカードをお使いの場合でも8MB/秒です。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。
マルチメディアカードおよびSDHCメモリーカードは動作しません。挿入しないでください。
*10 RAMモジュールを増設する際は、DDR2対応であることを確認してください。
JEDEC規格の214ピンマイクロDIMMは使用できません。PC2100、PC2700の172ピンマイクロDIMMは使用できません。
PC2-3200のRAMモジュールを取り付けると、本体メモリーの処理速度が遅くなります。
*11 USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
*12 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➜ 14ページ）
*13「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。エコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。（➜ 40ページ）

*14 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
*15 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
*16 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
*17 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*18 本機はインストール済みOS以外では動作保証しておりません。
*19 ご使用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録から90日間無償で「ウイルス定義ファイル」のアップデートサービスおよびサポートがご利用いただけます。引き続きマカフィー®・ウイルススキャンのアップデートをご利用の場合は、マカフィー・セキュリティセンターのメッセージに従い、セキュリティサービスの延長契約（有償）をお申し込みください。
*20 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT/TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NTとワイヤレス接続するときに使います）。お使いになるにはセットアップが必要です（ ➜ 『操作マニュアル』「 （周辺機器）」の「プロジェクターを使う」）。
*21 お使いになるにはインストールが必要です。（ ➜ 『操作マニュアル』「 （セキュリティ）」の「データを暗号化する」）
*22 セットアップユーティリティから実行するユーティリティ。
*23 起動方法は「ハードウェアを診断する」（ ➜ 75ページ）をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。

●無線LAN

データ転送速度	IEEE802.11a：54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps（自動切替）*24 IEEE802.11b：11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps（自動切替）*24 IEEE802.11g：54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps（自動切替）*24
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71/RCR STD-33 IEEE802.11a（J52/W52/W53）/IEEE802.11b/IEEE802.11g（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS SS 方式
有効距離*25	IEEE802.11a：見通し約30 m 、IEEE802.11b/g：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a　：34/38/42/46チャンネル（J52）、 36/40/44/48チャンネル（W52）、 52/56/60/64チャンネル（W53） IEEE802.11b/g ：1 ～ 13 チャンネル ad hoc通信モード： IEEE802.11a　：36/40/44/48チャンネル IEEE802.11b/g ：1 ～ 13 チャンネル
RF周波数帯域	2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz)、 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz）*26

*24 IEEE802.11a/b/g 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*25 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。
*26 IEEE802.11a準拠の無線LANは、無線通信に5 GHz帯を使用しています。5 GHz帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53

●本機のモデムは次の国または地域の規格に準拠しています。

アイスランド、アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クロアチア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク

（2006年9月1日現在）

ソフトウェア使用許諾書

本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず内容を確認してください。

第 1 条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM/DVD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第 2 条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第 3 条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした 1 回に限定されます。
第 4 条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン 1 台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第 5 条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第 6 条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第 7 条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第 8 条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第 9 条	準 拠 法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第 10 条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

このパソコンにトラブルがあったときは

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合、わからないことがあった場合などは、次の順番で確認してください。

このパソコンにトラブルがあったときは

1 マニュアルで調べる

●Windowsが起動するとき

『操作マニュアル』や 『困ったときの Q&A』などで調べてください。

スタート - 操作マニュアル をクリック

●本機が起動しないとき/電源は入るがWindowsが正常に起動しないとき

本書の「困ったとき」で調べてください。➜ 66 ページ、67 ページ

再インストールしてください。➜59ページ

2 Web で調べる

●よくある質問（FAQ）の確認/OS、BIOS、アプリケーションソフト関連などのアップデートプログラムをダウンロード

弊社の Web で調べる http://askpc.panasonic.co.jp

（Webページのデザインは改善などのため予告なく変更する場合があります。）

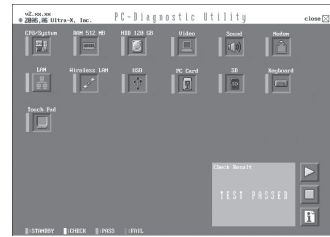
●セキュリティ情報

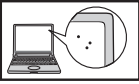
弊社の Web ページで調べる http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html

●Windows関連

Microsoft の Web ページで調べる http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/sp2

3 ハードウェアを診断する(PC-Diagnostic ユーティリティで調べる)

パソコンを起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に Ctrl + F7 を押して PC-Diagnostic ユーティリティを起動する。

診断時のお願いや操作方法について詳しくは、「ハードウェアを診断する」(➜ 75 ページ)をご覧ください。

4 アプリケーションソフトや周辺機器の製造元に問い合わせる

●付属のアプリケーションに関するお問い合わせ
本書の「アプリケーションソフトの問い合わせ先」➜ 87 ページ

●周辺機器に関するお問い合わせ
周辺機器の製造元にお問い合わせください。

5 再インストールする

本書の「再インストールする(パーティションを変更する)」➜ 59 ページ

6 お問い合わせ / 保証とアフターサービス

●お問い合わせは、次の内容ではありませんか?

電源 ON	電源が入らない	RAM モジュールを増設している場合は、RAM モジュールを取り外して再度電源を入れてください。
	バッテリーがもたない(駆動時間が短い)	使用環境を確認してください。(➜ 40 ページ)
	画面に黒い点や、色が付いている点がある	故障ではありません。あらかじめご了承ください。(➜ 74 ページ)
Word Excel	Word や Excel が入っていない	Microsoft® Office Word や Microsoft® Office Excel を使うには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 または Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 が必要です。
暗い	AC アダプターを抜くと画面が暗くなった	Fn + F2 を押してください。明るくなります。(➜ 29 ページ)

このパソコンにトラブルがあったときは

●本機に関するお問い合わせ
次のご相談窓口にお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

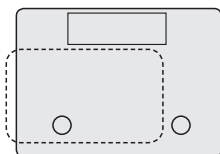
電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）

ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（2006年9月1日現在）

お問い合わせの際は、下記の機種品番（Panasonicロゴマークの下に記載）をお伝えください。

●修理に関するお問い合わせ

1 修理依頼書に記入する。（➜88ページ）

2 付属の『準備と設定ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、本体底面に貼られている修理窓口へ連絡する。

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『操作マニュアル』「(アプリケーションソフト)」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。
(2006年9月1日現在)

●**マカフィー®・ウイルススキャン**(デスクトップに が表示されている機種のみインストールされています)
マカフィー・カスタマオペレーションセンター

対応内容	登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など
受付時間	月~金曜日　9:00 ~ 17:00(祝祭日を除く)
電話	0570-030-088(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
E-mail	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
Web	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容	ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ
受付時間	年中無休　9:00 ~ 21:00
電話	0570-060-033(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
E-mail	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/contact.asp
Web	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

●**goo スティック**
goo事務局

受付時間	月~金曜日 10:00 ~ 17:00(年末年始、祝祭日を除く)
電話	045-848-4190(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
E-mail	info@goo.ne.jp
Web	http://stick.goo.ne.jp/

その他の導入済みソフトウェアについてはパナソニックパソコンお客様ご相談センターへお問い合わせください。
また、次の手順でお問い合わせ先をご確認いただけます。
①[スタート]をクリックする。
②[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された一覧から[プロパティ]をクリックする。
③[サポート情報]をクリックする。

修理依頼表

（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入のうえ、保証書とともに、修理されるパソコンに添付していただきますようお願いいたします。）

日ごろはパナソニックパソコンをご愛顧いただき、まことにありがとうございます。
修理のためにお客さまの商品をお預かりさせていただくにあたり、次の内容についてご承諾のうえ、必要事項のご記入をお願いいたします。

「パナソニックパソコンの修理をご要望されるお客さまへのお願い」

1. データをバックアップのうえ消去してください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。

お客さまよりお預かりいたしますパソコンの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。また、状況によっては、パソコン運送中におけるハードディスク内のデータ紛失・漏えいなどが生じることも考えられます。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客さまご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただいたうえで消去することをお願いいたします。
内蔵セキュリティチップ（TPM）をお使いの場合は、『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください

お預かりいたしますパソコンの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、次のとおり、お客さまのご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。
なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客さまのすべてのデータおよびソフトウェアが消去されますことをご了承ください。

3. パスワードを解除しておいてください

症状を確認することができるように、起動時のパスワードとハードディスク保護を無効にしておいてください。

ご依頼日:20　　年　　月　　日

お名前（フリガナ）		電話番号　（　　）　　－
		FAX番号　（　　）　　－
ご住所	〒	
商品品番	（製造番号:　　　）	お買い求め年月日　　年　　月　　日
お買い求めの販売店名		電話番号　（　　）　　－

●故障内容を教えてください : 以下に✓を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

●具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください : 以下に✓を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

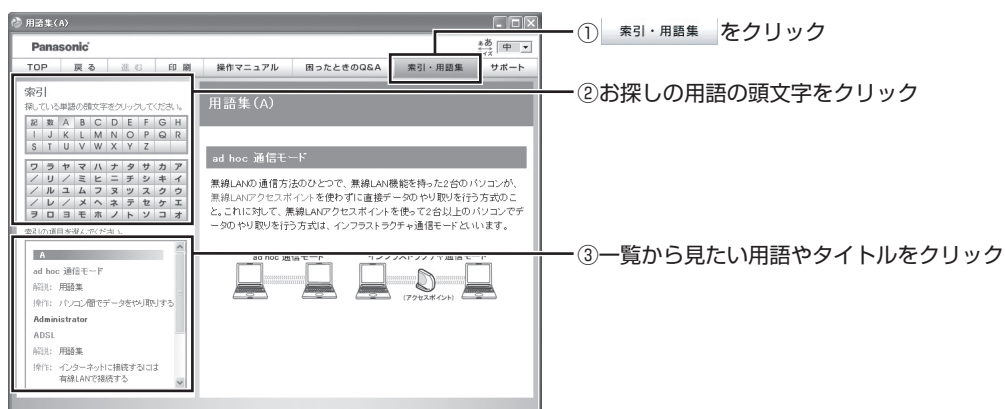
●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか : 以下に✓を入れてください
□実施した　□実施していない（上記のお願い事項 1. をご確認ください）

●ハードディスクの初期化について : 以下に✓を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

●有償修理のお客さまへ (無料修理のお客さまは記入不要です)
修理限度額 : 以下に✓を入れてください
□なし　□３万円（税込み）以下　□５万円（税込み）以下　□８万円（税込み）以下　□___万円（税込み）以下

ハードディスク内のデータについて
【パソコンの障害やお客さまにてハードディスク内のデータ消去ができない場合に適応】
パソコンの修理を行う際、症状確認・解析などでハードディスク内のデータファイルを必要最低限の範囲で開くことや、ハードディスクを交換することがございます。これらハードディスク内のデータはお客さまの秘密情報として適切な管理を行い、第三者に開示、漏えい、公表することはございません。

さくいん

の項目は、画面で見る『操作マニュアル』の「索引・用語集」をご覧ください。
スタート - 操作マニュアル をクリックしてください。
①索引・用語集 をクリック
②お探しの用語の頭文字をクリック
③一覧から見たい用語やタイトルをクリック
用語集（A）
Panasonic
TOP
戻る
進む
印刷
操作マニュアル
困ったときのQ&A
索引・用語集
サポート
索引
用語集（A）
ad hoc 通信モード
Administrator
ADSL

さくいん

さくいん

● Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows Vista、Windowsロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
● Intel、Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
● PhoenixBIOSは、Phoenix Technologies Ltd.の商標または登録商標です。
● SDロゴは商標です。
● Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
● ホイールパッドは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

Windows Vista™ Capable PC

Windows Vista™ Capable PC は、Windows Vistaの基本的な情報管理・検索機能やセキュリティ機能を動作させるに十分な性能を有します。Windows® Aero™ ユーザーインターフェースなど、Windows Vista Home Premium 以上のエディションに搭載されるプレミアム機能の利用にはハードウェアの増設が必要になる場合があります。詳細については、www.windowsvista.jp/getready を参照してください。

＊ハードウェアドライバーが必要な場合は、Windows Vista 発売後、順次パナソニックより提供します。

重要なお知らせ
● お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
● お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」および「使用・保管・お手入れについて」（➜ 17〜21ページ）の内容に注意してください。

● 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
● 落丁、乱丁はお取り換えします。
● 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
● 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

● 本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
● 漏えい電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式/直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

5 GHz帯の無線LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。
（➜ 81ページ）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

本機に搭載の電子マニュアルが、「わかりやすさ」や「操作性のよさ」などの点で、高い評価をいただきました。

愛情点検　長年ご使用のパソコンの点検を！

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った	このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

松下電器産業株式会社　IT プロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
Printed in Japan

SS0906-0
DFQM5645ZA